

令和5年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

I	令和5年度の取組	1
II	令和5年度目黒区文化ホール事業報告	7
	第1 自主事業	7
	第2 受託事業	6 7
	第3 その他事業	7 3
III	令和5年度目黒区美術館事業報告	7 9
	第1 自主事業	7 9
	第2 受託事業	9 2
	第3 その他事業	9 9
IV	処務の概要	
	1 重要な契約の概要	1 1 0
	2 財団運営会議の開催状況	1 1 0
	3 理事会の開催状況	1 1 1
	4 評議員会の開催状況	1 1 2
	5 評議員、理事及び監事名簿	1 1 3

I 令和5年度の取組

令和5年度は、目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）及び目黒区美術館（以下「美術館」という。）の指定管理4期目（令和元年度～5年度）の最終年度でした。

令和2年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、当財団事業にも大きな影響を及ぼしてきました。しかしながら5年5月8日に、それまでの2類感染症相当から5類感染症へ移行したことにより、当財団も平常通りの事業を実施し、区民に芸術文化に親しむ機会の提供及び主体的かつ創造的な芸術文化活動の場を提供することができました。

多くの区民の皆様には様々な鑑賞や参加の機会を提供できるよう、文化ホールと美術館を拠点にインターネットを活用した映像等の配信やワークショップの実施、新たなSNSを活用した情報発信、アウトリーチプログラム事業などにも積極的に取り組みました。

パーシモンホールの利用につきましては、これまで利用者の皆様から様々なご意見・ご要望をいただいておりますが、5年度は利用者の安全確保を図るため大ホールの客席に手摺りを設置し、また、施設の利便性向上に向け、大・小ホールの和式トイレの洋式化及び洋式トイレの温水洗浄便座への更新等を行いました。今後も利用者の安全確保、施設の利便性向上に努めてまいります。

また、区において、新たな目黒区民センターの整備に向けて「新たな目黒区民センターの基本計画」が11月に策定され、6年1月には「新たな目黒区民センター等整備・運営事業実施方針及び要求水準書（案）」が示されました。当財団では、美術館の指定管理者として、より良い美術館の整備のため意見の提出等を行いました。引き続き、新たな美術館の整備に向けて区と意見交換を進めてまいります。

一方、財務面では、他団体からの助成金や協賛金などの積極的な獲得や事業の執行方法の工夫等により効率的な運営に努めました。財団の基幹的収入である施設利用料金収入は、5年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が最小限にとどまり、回復傾向にあります。持続可能な財団経営に向けて、財政基盤の更なる強化が必要です。

今後も地域との連携を図りながら、区民一人ひとりが心豊かに生き生きと暮らしていけるよう、職員一丸となって事業を展開し、目黒区の目指す「文化縁」の充実と芸術文化の振興・発展に寄与できるよう努めてまいります。

1 目黒区文化ホール

令和5年度は、自主事業39事業、区からの受託事業2事業、指定管理事業1事業を実施し、新型コロナウイルス感染拡大前と同規模の事業を展開することができました。また、新たな事業に取り組むことができ、芸術文化への興味や関心を高める契機に努めました。

さらに、区補助金や助成金、協賛金を活用し、体験・普及事業にも力を入れ、芸術文化の裾野を広げる取組にも尽力いたしました。

(1) 鑑賞事業

幅広い年代の区民に向けて良質な鑑賞機会を提供することを目指し、主催事業6事業と良質で多彩な活動を行っている主催者と協力した共催事業9事業を実施しました。主な事業は次のとおりです。

ア フレッシュ名曲コンサート

若手指揮者の太田弦と、豊かな表現力と高い技術力を持ち合わせた新進気鋭のヴァイオリニストである中野りな、東京交響楽団とのオーケストラ公演を実施しました。本公演に先立って行ったキャンペーンコンサートの模様の一部をYouTubeで配信し、多くの方に視聴していただきました。

イ 夜のラウンジライブ

平日の夜、保守点検日で空いた利用枠を活用し、ホールの魅力の一つであるガラス張りの開放的な空間である大ホールホワイエを利用し、1ドリンク付きで60分のミニライブを初めて開催しました。

ウ 鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン×千住博 モーツァルト作曲 オペラ「魔笛」

工事休館のため他館と共同して公演を実施しているBunkamuraとの共催で、古楽器オーケストラによるオペラ公演を開催しました。国内外の実力派アーティストやスタッフが集結し、多くの方に注目され全公演完売となりました。

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主催事業は次のとおりです。

ア 第12回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサート

大地震が発生したことを想定し、ホールスタッフが出演者及び来場者を誘導し、区民キャンパス芝生広場に避難するコンサートを行いました。実施に当たっては、目黒区にキャンパスを構える東京音楽大学の学生が出演し、幅広い年代が楽しめる楽曲を披露しました。

イ 未来の音シリーズ

若手演奏家を支援し、区民に紹介する演奏会シリーズ「未来の音」には、ピアノの古海行子とチェロの北村陽が出演しました。北村陽は、出演後すぐに参加した世界的コンクールで優勝し、大きな話題となりました。

ウ 気仙沼漁師カレンダー展

目黒区の友好都市である気仙沼市の漁師を撮影したカレンダー展を、めぐろ区民キャンパスプラザ地下1階で開催しました。今回で最後の作品となりましたが、多くの方が足を止め、展示に見入っていました。

(3) 体験・普及事業

ア 子どものためのワークショップ

中・高校生を対象とした「演劇コース」と、小・中学生を対象とした「ダンス」コースを実施し、実演芸術に親しみ、創造性を育む機会を提供しました。

イ 大人の演劇ワークショップ

演劇初心者でも参加しやすいよう1日完結型で実施し、演劇の要素を踏まえた様々なワークと、グループごとにテーマに沿った短い演劇を創作しました。演劇に触れる機会や参加者同士のつながり作りにも寄与した事業になりました。

ウ アウトリーチプログラム

様々なジャンルのアーティストが区内の学校や福祉施設などに赴き間近で演奏等を行い、交流する機会を提供しました。

なお、令和5年度からは、目黒区教育委員会からの依頼により、目黒区立小学校の音楽の教育課程として全小学校で実施しました。

エ ぱんだウインドオーケストラ 中学生吹奏楽部 直接指導

若手吹奏楽団「ぱんだウインドオーケストラ」メンバーが区立中学校吹奏楽部に、基礎練習から普段練習している曲を中心に直接指導（計8回）を行いました。

(4) 受託事業・指定管理事業

ア 目黒区文化祭

目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、13公演を実施しました。

イ めぐろオータムアート

美術館と連携した第11回音楽と美術のワークショップ「生活の中の『ノイズ』を見つけて展覧会を作る」と、旧前田家本邸洋館でのチェンバロのコンサート（2回）を開催しました。

ウ 小松亮太タンゴ・アンサンブル～アルゼンチン・タンゴとヨーロッパ・タンゴの饗宴

世界的バンドネオン奏者の小松亮太が、軽快なトークとともにタンゴの名曲プログラムを大編成のアンサンブルで演奏しました。

(5) 貸館事業

ア 新型コロナウイルス感染症への対応

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが2類感染症相当から5類感染症に移行されたため、ホールの感染拡大予防ガイドラインは廃止しましたが、引き続き、基本的な感染対策の案内を利用者に周知しました。

イ 大ホール消防設備点検時の事故への対応

令和5年9月6日未明に発生した大ホール消防設備点検時のスプリンクラー作動による被水事故は、通常の利用には大きな支障が生じませんでした。機器等の交換、修繕等を要する大きな被害となりました。一部、11月6日からの計画工事期間中に、修繕等の対応を行いました。

引き続き、施設利用に影響が生じないように、関係事業者との連携をより密にし、施設の完全復旧に向けて取り組んでまいります。

ウ 施設の改善

令和5年11月6日から6年1月6日まで、大ホール及び小ホールは計画工事のため、2か月間休館しました。

主な工事内容は、大ホールは舞台機構部品交換、小ホールは舞台照明調整盤等の更新工事を行いました。併せて、大ホールの手摺り設置工事、大・小ホールの和式トイレの洋式トイレへの更新を行いました。

また、日常点検や定期的な保守点検等を通じて、安全確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めました。

エ 施設利用状況

各施設の利用率は、大ホールは87.8%（4年度：81.6%）、小ホールは85.0%（4年度：85.2%）、中目黒GTプラザホールは89.2%（4年度：78.3%）、諸室は70.4%（4年度：70.1%）となり、平均は82.5%（4年度：78.5%）で、4年度に比べ4ポイント増加しました。

2 目黒区美術館

令和5年度は、展覧会事業として5つの展覧会を中心に、ワークショップなどの教育普及事業を進めました。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが2類感染症相当から5類感染症に移行され、徐々に社会が日常を取り戻しつつある中、スケジュール通りの展覧会開催をはじめ、対面式のワークショップなど予定していた事業を行うことができました。

(1) 展覧会事業

ア 自主事業展覧会（3展）

- ① 「ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる」展
- ② 「中村直人 モニュメンタル/オリエンタル」展
- ③ 「広がるコラージュ」展/同時開催「IIDA 101 飯田善國」展

イ 指定管理事業（2展）

- ① 「目黒区美術館コレクション展」
版画いろいろ+特集展示・秋岡芳夫全集6銅版画
- ② 「めぐろの子どもたち展」

ウ 区からの受託事業

「めぐろオータムアート」
目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマに、ワークショップなどを実施しました。

エ 展覧会の入館者数

27,674人（各展覧会の合計目標を約3,600人上回る。）
報道機関等への広報等により、情報の掲載や問い合わせも多くありました。

(2) 教育普及事業

教育普及事業については、美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育まれるような事業を展開しました。

また、ワークショップ事業では、対面式のワークショップを開催したほか、子育てや介護などで出かけることが難しいかた向けにオンラインを活用したギャラリートัวร์を実施しました。

ア ワークショップ

- ① ワークショップ夏【画材の実験室 夏休み編】
期間中開催されていた中村直人展に関連し、中村が用いていたもみ紙の技法を体験できるワークショップ等を開催しました。
- ② ワークショップ春【画材の実験室 春休み編】
画材や素材への興味を引き出し、同時期開催で扱う「コラージュ」の技法に着目したワークショップ等を開催しました。

イ ギャラリーツアー

近年、学校単位での受け入れが難しくなってきたため、令和4年度から学童保育クラブや学校の美術部などに働きかけ、多くの児童・生徒に来館していただきました。

ウ トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム（TVT）の運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラムを実施しました。

エ 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾の設計による、1966年竣工の旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩くガイドツアーを開催しました。

オ デザインキャンプ プラス

プラス株式会社ファニチャーカンパニーとの協働により、デザインを考える・体験する良質な場とつながりを提供する新たなワークショップを立ち上げました。

カ アウトリーチプログラム

令和6年度に開催予定の「青山悟 刺繍少年フォーエバー」のプレプログラムとして、出品作家の青山悟が目黒区内の学校を訪れ、美術の授業を実施しました。

（3）調査研究

作品の保管・活用については、所蔵作品の保存・修復のほか、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行いました。

所蔵作品や所蔵作家だけでなく最新の美術の動向にも精通し、斬新な視点を構築するために、調査研究に努め、魅力的な展覧会の開催を目指しました。

（4）区民等の芸術文化活動の支援

区民等への芸術文化活動支援の一環として、区展及び目黒区美術家協会展など区内3美術団体の展覧会開催への協力・支援のほか、区内等の中学校・高等学校職場体験や見学会及びその他視察・研修等の受け入れを行いました。

また、広報活動に関しては、YouTube 公式ページによる動画配信やSNSを活用した情報発信などに積極的に取り組みました。

（5）区民ギャラリーの運営

利用率は、開館以来はじめて100%となり、令和4年度と比べ5ポイント増加しました。

空き状況については、これまでの当館ウェブサイトでの情報公開、メールマガジンによる情報配信、チラシの配布に加え、SNS上での配信も行いました。

II 令和5年度目黒区文化ホール事業報告

※ 入場者数は実際に入場した人数を示し、チケット販売数と異なる。定員は、各公演のチケット販売時に適用されている国・都による新型コロナウイルス感染症対策の開催条件に従って設定している（令和5年5月7日まで）。

第1 自主事業（定款第4条第1項第1号）

1 鑑賞事業

(1) 主催事業（6事業＝10公演 ※ 1事業中止）

No.	内容	
1 ① ②	公演名	「ベルギーと日本」展 ミュージアムコンサート ベルギー生まれの楽器、サクソフォンを聴く
	公演日	令和5年6月3日（土） ① 14時開演 ② 16時開演
	会場	目黒区美術館ワークショップ室
	料金等	[全席自由] 1,500円
	入場者	① 31人【定員35名】／完売（88.6%） ② 38人【定員35名】／完売（108.6%）
事業内容	<p>目黒区美術館の展覧会「ベルギーと日本」にちなみ、ベルギー出身のアドルフ・サクスが発明した楽器・サクソフォンの奏者3人によるコンサートを開催した。</p> <p>3人は平成27年に「村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界」にも出演しており、その際に作曲した作品や、今回の展覧会の展示作品からインスピレーションを得て作曲した新作などを披露し、音楽と美術に深みを感じられる機会となった。</p> <p>【出演】 Avant-Première 〈アヴァンブルミエ〉 〈サクソフォン〉 鈴木広志、東涼太、上運天淳市</p> <p>【曲目】 Spring Spring／ワルツ／建築組曲より「ガラスブロックの曲壁面」／華麗なる幻想曲 op. 86／アントワープ港の眺めに寄せて／雪の朝より／コンスタンタン／木こりと牛</p> <p>《アンコール》 サン＝サーンス作曲／東涼太 編曲：死の舞踏</p>	



2 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 夜のラウンジライブ vol.1 北村聡〈バンドネオン〉×マレー飛鳥 〈ヴァイオリン〉	
	公演日	令和5年9月11日(月)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	[全席自由] 2,500円(ワンドリンク付き)	
	入場者	80人【定員80名】/完売 (100%)	
事業内容	<p>平日の夜、大ホールホワイエで開催する60分のミニライブとして、今回、初めて開催した。</p> <p>大ホールの夜間枠は比較的使用が少なく、かつ保守点検の空き時間等を上手く活用しながら、ホールの魅力の一つであるガラス張りの開放的な空間で、日常のちょっとした楽しみとして、飲み物を片手に音楽に親しんでいただくことを目的に企画した。</p> <p>その第1弾となる今回は、舞台保守点検日の枠を利用しての開催となった。出演はバンドネオンとヴァイオリンのデュオであったが、オリジナル曲を中心に、二人の掛け合いが存分に楽しめる聴きごたえのあるプログラムとなった。</p> <p>【出演】 北村聡(バンドネオン)、マレー飛鳥(ヴァイオリン)</p> <p>【曲目】 Canción de junio/ある夕べに/Recuerdos/Variaciones Mareadas 遮られた時間/Festivo/春を讃え、そして踊れ</p> <p>《アンコール》 マレー飛鳥: Still</p>		
2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 夜のラウンジライブ vol.2 島裕介(トランペット)×齋藤純一(ギター)	
	公演日	令和5年10月17日(火)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	[全席自由] 2,500円(ワンドリンク付き)	
	入場者	76人【定員80名】 (95%)	

	事業内容	<p>平日の夜、大ホールホワイエで開催する60分のミニライブ第2弾は、照明保守点検日を利用して開催した。</p> <p>会場はジャズクラブを想起する様な装飾や照明演出を施し、普段のホワイエとは異なる印象を与える空間づくりを心掛けた。出演はトランペットとギターという珍しい編成となったが、映画音楽やジャズのスタンダード・ナンバーを携えて、会場の雰囲気にもマッチした演奏を届けてくれた。</p> <p>【出演】 島裕介（トランペット）、齋藤純一（ギター）</p> <p>【曲目】 ニューシネマパラダイス／The Days of Wine and Roses／黒いオルフェ～カーニバルの朝～／Misty／Fly Me To The Moon／Moon River／Englishman in New York／Blue in Kyoto／My Favorite Things</p> <p>《アンコール》 アーレン：Over The Rainbow</p>	
3	公演名	新春落語三人会～三遊亭小遊三・春風亭小朝・春風亭昇太	
	公演日	令和6年1月12日（金）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	1,138人【定員1,200名】／完売 (94.8%)	
	事業内容	<p>新春恒例の落語会。</p> <p>3人のベテランの噺家による落語に先立ち、初めて獅子舞で幕開けとし、より一層新春らしい公演となった。</p> <p>今回も自由が丘蜂の家よりお菓子の協賛品をいただき、抽選で30名の来場者に配布した。</p> <p>【出演・演目】 柳貴家正楽社中「獅子舞・水戸大神楽」、春風亭昇太「時そば」、春風亭小朝「扇的」、三遊亭小遊三「代り目」</p> <p>【協賛】 自由が丘蜂の家</p>	
4	公演名	Banksia Trio 須川崇志、林正樹、石若駿	 <p style="text-align: right;">©つるたけんご</p>
	公演日	令和6年1月14日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 3,600円	
	入場者	184人【定員200名】／完売 (92%)	

	事業内容	<p>日本国内のトップジャズプレイヤーである Banksia Trio によるジャズ公演を開催した。</p> <p>最新アルバム収録曲を中心に、本公演で初公開となった須川崇志作曲の新曲を含む全12曲を披露し、比較的若い世代が来場した。物販購入者を対象としたサイン会には多くの来場者が列を作り、出演者との交流を楽しんだ。</p> <p>【出演】 須川崇志（ベース）、林正樹（ピアノ）、石若駿（ドラム）</p> <p>【曲目】 Drizzling Rain/Rain/MASKS/Waltz Step/011224/May 13th/Doppio Movimento/Lake Largo/Nigella/Jomon Dance</p> <p>《アンコール》 Blue In Green/Messe 1</p>
5 ①	公演名	毛利文香＋コハーン＋兼重稔宏 ～東欧をめぐる物語
	公演日	令和6年2月4日（日）
	会場	小ホール
	料金等	[全席指定] S席 3,600円 学生 2,000円
	入場者	181人【定員200名】／完売 (90.5%)
	事業内容	<p>未来の音シリーズ等にも出演したヴァイオリニスト毛利文香の発案により、東欧の作曲家の作品でプログラムを構成した。</p> <p>前半はヴァイオリンとピアノのデュオ、後半はクラリネットを加えたトリオで、演奏機会の少ない作品を紹介する貴重な機会となった。</p> <p>【出演】 毛利文香（ヴァイオリン）、イシュトヴァーン・コハーン（クラリネット）、兼重稔宏（ピアノ）</p> <p>【曲目】 [チェコ] ドヴォルザーク：4つのロマンティックな小品 op. 75 [ルーマニア] エネスク：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 へ短調 op. 6 [ロシア] ストラヴィンスキー：兵士の物語（三重奏版） [ハンガリー] バルトーク：コントラスツ BB 116 (Sz. 111)</p> <p>《アンコール》コハーン：Ani Maamin - Szóla Kakas Már</p>
5 ②	公演名	鈴木大介＋大萩康司 ギターデュオ
	公演日	令和6年3月3日（日）



© Takako Miyachi

	会場	小ホール	 <p>© Takako Miyachi</p>
	料金等	[全席指定] S席 3,600円 学生 2,000円	
	入場者	182人【定員200名】／完売 (91%)	
	事業内容	<p>2009年、2017年にも出演し、いずれも完売となった人気のギタリスト2人によるコンサートを開催した。</p> <p>日本きっての実力派の2人が、クラシックやピアソラの人気曲に加え日本の作曲家の作品も紹介し、意義深いコンサートとなった。</p> <p>【出演】 鈴木大介、大萩康司（ギター）</p> <p>【曲目】 ヨハネス・ブラームス（ジョン・ウィリアムズ編）：主題と変奏 op. 18 武満 徹（鈴木大介編）：夢千夜日記／どですかでん レオ・ブローウェル：ビートルリアーナス～エリナー・リグビー／シーズ・リーヴィング・ホーム／涙の乗車券／ペニー・レーン／フル・オン・ザ・ヒル c o b a：ゴヤの夢想 久石 譲：揺れ動く不安と夢の球体 アルトル・ピアソラ：タンゴ組曲</p> <p>《アンコール》 アルベニス（リョベート編）：椰子の木陰／入江のざわめき マンシーニ（鈴木大介編）：酒とバラの日々 コビアン（飯水昌宏編）：酔いどれたち</p>	
	公演名	フレッシュ名曲コンサート キャンペーンコンサート 中野りな〈ヴァイオリン〉	
6 ①	公演日	令和6年2月11日（日・祝）	 <p>© Takako Miyachi</p>
会場	小ホール		
料金等	[全席指定] 1,000円		
入場者	171人【定員200名】／完売 (85.5%)		

事業内容	<p>フレッシュ名曲コンサートのソリスト、中野りなによるキャンペーンコンサートを開催した。</p> <p>2021年日本音楽コンクールで優勝、聴衆賞ほかを受賞し、2022年には仙台国際音楽コンクールにおいて史上最年少の17歳で優勝、併せて聴衆賞を受賞して大きな話題を呼んだ若きヴァイオリニストの魅力を、本公演に先立ち紹介する機会となった。</p> <p>【出演】 中野りな（ヴァイオリン）、小森谷裕子（ピアノ）</p> <p>【曲目】 クライスラー：愛の喜び モーツァルト：ロンド ハ長調 K. 373 パガニーニ：24のカプリース op. 1 より第4番 ハ短調 シューマン：ヴァイオリン・ソナタ第1番 イ短調 op. 105 イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ op. 27 第3番 ニ短調「バラード」 パガニーニ：イ・パルピティ op. 13</p> <p>《アンコール》 クライスラー：ウィーン奇想曲</p> <p>【主催】 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館</p> <p>【企画協力】 東京オーケストラ事業協同組合</p> <p>【協力】 仙台国際音楽コンクール事務局</p>											
6 ②	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="371 1111 531 1223">公演名</td> <td data-bbox="531 1111 940 1223">フレッシュ名曲コンサート 太田弦×中野りな×東京交響楽団</td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1223 531 1319">公演日</td> <td data-bbox="531 1223 940 1319">令和6年3月16日（土）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1319 531 1415">会場</td> <td data-bbox="531 1319 940 1415">大ホール</td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1415 531 1550">料金等</td> <td data-bbox="531 1415 940 1550">[全席指定] S席 4,000円 A席 3,300円 学生 1,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 1550 531 1653">入場者</td> <td data-bbox="531 1550 940 1653">1,061人【定員1,200名】 (88.4%)</td> </tr> </table>	公演名	フレッシュ名曲コンサート 太田弦×中野りな×東京交響楽団	公演日	令和6年3月16日（土）	会場	大ホール	料金等	[全席指定] S席 4,000円 A席 3,300円 学生 1,000円	入場者	1,061人【定員1,200名】 (88.4%)	
公演名	フレッシュ名曲コンサート 太田弦×中野りな×東京交響楽団											
公演日	令和6年3月16日（土）											
会場	大ホール											
料金等	[全席指定] S席 4,000円 A席 3,300円 学生 1,000円											
入場者	1,061人【定員1,200名】 (88.4%)											

事業内容	<p>令和3年度のフレッシュ名曲コンサートにおいて急きょ代役として出演した際、来場者から高い評価を受けた指揮者・太田弦と東京交響楽団の再共演となった。</p> <p>ソリストの中野りなは豊かな表現力と高い技術力を発揮し、堂々たる演奏を披露した。事業の趣旨にふさわしく名曲が並んだプログラムであったこともあり、生演奏は初めてという人からクラシック愛好家まで、多様な客層が来場した。開場中にステージ上で行ったオーケストラメンバーによるミニ・コンサートも好評を得た。</p> <p>【出演】 太田弦（指揮）、中野りな（ヴァイオリン）、東京交響楽団（管弦楽）</p> <p>【曲目】 シベリウス：交響詩「フィンランディア」 op. 26 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 op. 47 チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 op. 64</p> <p>《ソリストアンコール》 パガニーニ：24のカプリースより 第24番 《オーケストラアンコール》 チャイコフスキー： アンダンテ・カンタービレ（弦楽四重奏曲第1番 第2楽章 弦楽合奏版）</p> <p>◆ウェルカム・コンサート 東響メンバーによる弦楽四重奏（開演前14時30分からステージ上で実施）</p> <p>【曲目】 シベリウス：アンダンテ・フェスティーフォ チャイコフスキー：弦楽四重奏曲第1番から 第4楽章</p> <p>【主催】 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館</p> <p>【企画協力】 東京オーケストラ事業協同組合</p> <p>【協力】 仙台国際音楽コンクール事務局</p>
------	--

※ 中止となった事業
大分県立美術館との連携事業は、出演者等と調整が合わなかったため、中止した。

(2) 共催事業 (9事業=61公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	気になる三人かい・・・ 春風亭一之輔・三遊亭萬橋・桂宮治	
	公演日	令和5年4月12日(水)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	1,083人【定員1,200名】／完売 (90.3%)	
	事業内容	<p>夢空間主催による落語会のトップを走る3人の公演を開催した。 チケットは完売し、3人の落語家によるパフォーマンスで会場を大きく沸かせた。</p> <p>【出演・演目】 春風亭一之輔「柳田格之進」、三遊亭萬橋「熊の皮」、桂宮治「四段目」</p> <p>【主催】 夢空間</p>	
1 ②	公演名	古典新作取り交ぜて、夏真っ盛りの三人会 柳家喬太郎・柳亭市馬・林家きく麿	
	公演日	令和5年7月23日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	700人【定員1,200名】 (58.3%)	
	事業内容	<p>夢空間主催による落語公演を開催した。 タイトル通り、古典から新作までバラエティ豊かな落語を楽しむことができる公演となり、より幅広い世代が来場した。</p> <p>【出演・演目】 柳家喬太郎「品川心中」、林家きく麿「首領が行く!」、柳亭市馬「青菜」</p> <p>【主催】 夢空間</p>	

1 ③	公演名	気になる三人会 林家たい平・桃月庵白酒・柳家三三	
	公演日	令和5年10月20日(金)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円	
	入場者	664人【定員1,200名】 (55.3%)	
	事業内容	今年度3回目となる夢空間主催の落語公演を開催し、出演者の個性あふれる落語会となった。 【出演・演目】 桃月庵白酒「甲府い」、柳家三三「粗忽の釘」、林家たい平「幾代餅」 【主催】 夢空間	
2	公演名	魂の津軽三味線 高橋竹童	
	公演日	令和5年5月13日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 4,000円	
	入場者	165人【定員200名】 (82.5%)	
	事業内容	サウンドポート主催による津軽三味線奏者・高橋竹童の公演を開催した。 津軽三味線をはじめ尺八や胡弓を演奏し、日本各地の様々な民謡を紹介するとともに、東日本大震災の際に津波で流された三味線を修復した楽器で演奏する等、和楽器に触れる機会の公演となった。 【曲目】 津軽じょんから節、おわら風の盆、津軽よされ節 ほか 【主催】 サウンドポート	
3	公演名	LE VELVETS コンサートツアー 2023 Because of you ~15th Anniversary~	
	公演日	令和5年5月27日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 7,000円 小中学生 1,000円	
	入場者	1,088人【定員1,200名】／完売 (90.7%)	

	事業内容	<p>宮原浩暢、佐賀龍彦、日野真一郎、佐藤隆紀で構成されたヴォーカル・グループ「LE VELVETS」の結成15周年を記念したツアーコンサートを東京労音の主催で開催した。</p> <p>ツアーの初日ということもあり、チケットはファンクラブ先行で800枚程度売れ、その後ホールを含む一般発売で早々に完売した。来場者は50～60代が中心だったが、比較的若い世代の来場が目立った。コンサートはグループでの歌唱に加え、それぞれの独唱もあり記念公演として大いに盛り上がっていた。</p> <p>【曲目】 オー・ソレ・ミオ、Time To Say Goodbye、Nessun Dorma! ほか</p> <p>【主催】 東京労音</p>	
4 ① ② ③	公演名	Noism0 / Noism1 「領域」	 <p>©Kishin Shinoyama</p>
	公演日	<p>① 令和5年7月14日(金)</p> <p>② 令和5年7月15日(土)</p> <p>③ 令和5年7月16日(日)</p>	
	会場	大ホール	
	料金等	<p>[全席指定]</p> <p>一般 6,000円 U25 3,000円</p>	
	入場者	<p>① 393人 ② 338人 ③ 410人</p> <p>【各回定員 517名】</p> <p>※ 1階席のみ使用。前舞台を張り出した。 (① 76.0% ② 65.4% ③ 79.3%)</p>	
	事業内容	<p>公益財団法人新潟市芸術文化振興財団との共催で、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団によるダンス公演を開催した。</p> <p>ダンスカンパニーカレイドスコープを率い、独創的な動きと構成で注目される二見一幸の振付による Noism1 の新作と、Noism 芸術総監督・金森穰による Noism0 新作との二本立て（ダブルビル）で上演し、幅広い世代が来場した。</p> <p>【演目】 『Floating Field』 演出振付：二見一幸 出演：Noism1 『Silentium』 演出振付：金森穰 出演：Noism0</p> <p>【主催】 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団</p> <p>【製作】 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館</p>	
5 ① ② ③	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクール・パフォーマンス	
	公演日	<p>① 令和5年8月21日(月)</p> <p>② 令和5年8月22日(火)</p> <p>③ 令和5年8月23日(水)</p>	

	会 場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 2,000 円 (中学生以下半額)	
	入場者	① 670 人【定員 1,200 名】 (55.8%) ② 724 人【定員 1,200 名】 (60.3%) ③ 848 人【定員 1,200 名】 (70.7%)	
	事業内容	東京バレエ学校による公演を開催し、未来のダンサーたちによるフレッシュなステージを披露した。 【主催】 公益財団法人日本舞台芸術振興会 (めぐろバレエ祭り全イベントについて)	
5 ④	公演名	第 11 回めぐろバレエ祭り ドリアードの女王を踊ろう！	
	公演日	令和 5 年 8 月 22 日 (火)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 3,000 円 (16 歳以上 バレエ歴 3 年以上)	
	入場者	25 人【定員 36 名】 (69.4%)	
事業内容	バレエ歴 3 年以上の方を対象に“ドリアードの女王”のヴァリエーションに挑戦できるレッスンを開催した。 美しい踊り方の秘訣や高難度のテクニックを同役で定評のある東京バレエ団現役ダンサー政本絵美が直々に指導した。		
5 ⑤	公演名	第 11 回めぐろバレエ祭り セギディリアを踊ろう！	
	公演日	令和 5 年 8 月 23 日 (水)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 3,000 円 (16 歳以上 バレエ歴 3 年以上)	
	入場者	35 人【定員 36 名】 (97.2%)	
事業内容	東京バレエ団プリンシパルである沖香菜子、秋元康臣の特別レッスンとして、大人のための群舞企画を開催した。 今回はバレエ「ドン・キホーテ」を盛り上げる街の人々のエネルギー溢れる群舞を踊った。		

5 ⑥ ⑦ ⑧	公演名	第11回めぐろバレエ祭り ぬり絵であそぼう！	
	公演日	① 令和5年8月24日(木) ② 令和5年8月25日(金) ③ 令和5年8月26日(土)	
	会場	大ホールホワイエ、小ホールホワイエ	
	料金等	入場無料(4歳以上)	
	入場者	① 98人(延べ人数) ② 200人(延べ人数) ③ 230人(延べ人数)	
事業内容		バレエ作品で有名な漫画家 楨村さとるが描きおろした絵のぬり絵コーナーを開催した。	
5 ⑨ ⑩ ⑪	公演名	第11回めぐろバレエ祭り ミニトウシューズにデコレーションしよう！	
	公演日	令和5年8月24日(木) ① 10時00分開始 ② 14時30分開始 ③ 16時00分開始	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 2,700円(小学生対象)	
	入場者	① 62人【定員34名】(182.4%) ② 64人【定員34名】(188.2%) ③ 42人【定員34名】(123.5%)	
事業内容		ミニトウシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作した。	
5 ⑫	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 親子でミニトウシューズにデコレーションしよう！	
	公演日	令和5年8月24日(木)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 5,400円(小学生とその保護者が対象)	
	入場者	16組32人【定員17組34名】 (94.1%)	
事業内容		親子で一緒に楽しめるワークショップとして、ミニトウシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作した。	

5 ⑬	公演名	第11回めぐろバレエ祭り ティアラをつくろう！	
	公演日	令和5年8月24日(木)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 3,800円(小学生対象)	
	入場者	44人【定員20名】 (220%)	
	事業内容	小学生を対象にした、ビーズなどを飾りつけて光る自分だけのティアラを作るワークショップを開催した。	
5 ⑭ ⑮	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 東京音楽大学プレゼンツ 0歳から親子で楽しめるバレエ音楽コンサート ようこそ！木管楽器で奏でお菓子の国の舞踏会	
	公演日	令和5年8月24日(木) ① 10時20分開始 ② 11時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 500円(6か月から小学6年生までと、その保護者が対象)	
	入場者	① 91人【定員90名】 (101.1%) ② 89人【定員90名】 (98.9%)	
	事業内容	6か月から小学生までとその保護者を対象に東京音楽大学の学生が企画制作から演奏まで行うバレエ音楽コンサートを開催した。 「くるみ割り人形」の楽曲を中心に、演奏を聴くだけでなく体を動かしながら楽しめる親子向けのコンサートとなった。	
5 ⑯ ⑰ ⑱ ⑲	公演名	第11回めぐろバレエ祭り もっと上手に	
	公演日	① 令和5年8月24日(木) 13時00分開始 ② 令和5年8月24日(木) 14時30分開始 ③ 令和5年8月25日(金) 13時00分開始 ④ 令和5年8月25日(金) 14時30分開始	
	会場	小ホール	

	料金等	[参加費] 1,000 円 (バレエ歴1年以上で小学1～3年生)	
	入場者	① 58人【定員30名】 (193.3%) ② 64人【定員30名】 (213.3%) ③ 64人【定員30名】 (213.3%) ④ 60人【定員30名】 (200%)	
	事業内容	バレエ歴1年以上の小学1年生から3年生までを対象にした体験レッスンとして、東京バレエ学校の人気教師である坂井直子によるバレエの基礎を学べるレッスンを開催した。	
5 ⑳	公演名	第11回めぐろバレエ祭り footism プレゼンツ しなやかに・やわらかく	
	公演日	令和5年8月24日(木)	
	会場	目黒区立八雲体育館	
	料金等	[参加費] 2,000 円 (特別支援学級へ通っている小学生等)	
	入場者	12人【定員15名】 (80%)	
	事業内容	特別支援学級の小学生を対象にバレエの要素を入れながら体を動かすイベントを開催した。 講師は東京バレエ団の足立真里亜、山下湧吾が務めた。	
5 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔	公演名	第11回めぐろバレエ祭り はじめてのバレエ	
	公演日	① 令和5年8月25日(金) 10時30分開始 ② 令和5年8月25日(金) 11時30分開始 ③ 令和5年8月26日(土) 9時30分開始 ④ 令和5年8月26日(土) 10時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000 円	
	入場者	① 50人【定員30名】 (166.7%) ② 30人【定員30名】 (100%) ③ 61人【定員30名】 (203.3%) ④ 67人【定員30名】 (223.3%)	
	事業内容	3歳から6歳までのバレエ未経験の子どもを対象にした体験レッスンとして、生のピアノ演奏のもと、のびのびとレッスンを楽しんだ。	

5 ②⑤	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校プレゼンツ これで私もオーロラ姫に！ ローズ・アダージオを踊ろう！	
	公演日	令和5年8月25日(金)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 5,000円(高校生以上、バレエ歴5年以上)	
	入場者	24人【定員20名】 (120%)	
事業内容		東京バレエ団の現役ダンサーたちをゲストに迎え、「眠れる森の美女」の名場面「ローズ・アダージオ」に挑戦した。	
5 ②⑥ ②⑦ ②⑧ ②⑨	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ ドン・キホーテの夢	
	公演日	① 令和5年8月26日(土)11時30分開演 ② 令和5年8月26日(土)15時00分開演 ③ 令和5年8月27日(日)11時30分開演 ④ 令和5年8月27日(日)15時00分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席6,000円 A席5,000円 (中学生以下) S席3,000円 A席2,500円	
	入場者	① 899人【定員1,200名】(74.9%) ② 885人【定員1,200名】(73.8%) ③ 1,117人【定員1,200名】(93.1%) ④ 1,110人【定員1,200名】(92.5%)	
事業内容		「ドン・キホーテの夢」を上演した。親子での鑑賞はもちろんのこと、初めてバレエを鑑賞する大人やバレエファンも楽しめる人気公演として、多くの方にご来場いただいた。	
5 ③⑩ ③⑪	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 0～3歳のための楽しいバレエ・ワークショップ	
	公演日	① 令和5年8月26日(土)11時30分開始 ② 令和5年8月26日(土)12時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1組1,000円	

	入場者	① 50人【定員20組40名】 (125%) ② 46人【定員20組40名】 (115%)	
	事業内容	0歳から3歳までとその保護者を対象とした、バレエ音楽のリズムに乗って身体を動かすことを親子一緒に体験するイベントを開催した。	
5 ③②	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 親子でバレエ・レッスン	
	公演日	令和5年8月26日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1組1,000円 (小学1~4年生とその保護者)	
	入場者	48人【定員20組40名】 (120%)	
	事業内容	小学1年生から4年生までとその保護者が東京バレエ学校教師の指導で親子一緒にバレエ要素を取り入れたストレッチを体験した。	
5 ③③	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 上野水香の「ジゼル」レッスン	
	公演日	令和5年8月26日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 6,000円(トウシューズ歴2年以上の方)	
	入場者	50人【定員36名】 (138.9%)	
	事業内容	東京バレエ団のゲスト・プリンシパル・上野水香による、16歳以上でバレエ歴2年以上の方を対象にした特別レッスンを開催し、「ジゼル」第1幕のバリエーションに挑戦した。	
5 ③④	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 「ジゼル」の群舞を踊ろう!	
	公演日	令和5年8月26日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 10,000円 (18歳以上でバレエ歴2年以上の女性)	
	入場者	51人【定員36名】 (141.7%)	
	事業内容	めぐろバレエ祭りで人気の高い大人のための群舞体験では、「ジゼル」第2幕群舞を東京バレエ学校の教師である矢島まいの指導のもと、挑戦した。	

5 ③⑤	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 公開レッスン	
	公演日	令和5年8月27日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[参加費] 無料	
	入場者	650人【定員700名】 (92.9%)	
事業内容	東京バレエ団のダンサーたちの貴重な本番前のレッスンを特別に無料公開した。		
5 ③⑥ ③⑦	公演名	第11回めぐろバレエ祭り からだであそぼう だれでもダンス☆	
	公演日	令和5年8月27日(日) ① 11時45分開始 ② 15時20分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円(3~7歳)	
	入場者	① 56人【定員30名】 (186.7%) ② 57人【定員30名】 (190%)	
事業内容	体を使って遊びながら自由に表現する楽しみを味わえる振付家・ダンサーの田畑真希による3歳から7歳向けのワークショップを開催した。		
5 ③⑧	公演名	第11回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団ダンサーズ・トーク in めぐろ	
	公演日	令和5年8月27日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,500円(小学生以上)	
	入場者	117人【定員100名】 (117%)	
事業内容	東京バレエ団ダンサーによるトークイベントを開催し、ダンサーたちの生の声に触れられる貴重な機会となった。		

5 ③⑨ ④⑩	公演名	第11回めぐろバレエ祭り スーパーバレエ MIX BON 踊り	
	公演日	① 令和5年8月27日(日) 13時15分開始 ② 令和5年8月27日(日) 14時15分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 無料(事前申込)	
	入場者	① 200人【定員180名】 (111.1%) ② 200人【定員180名】 (111.1%)	
	事業内容	東京バレエ団のプリンシパルである宮川新大が講師となって参加者と共にバレエの動きを取り入れたBON踊りを開催し、お祭りのフィナーレを盛大に飾った。	
5 ④⑪	公演名	第11回めぐろバレエ祭り バレエ縁日	
	公演日	令和5年8月27日(日)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 300円～	
	入場者	1,356人(延べ人数)	
	事業内容	「光るバルーンを作ろう!」や「バレエバックチャームを作ろう!」、「海賊の華輪投げ」などバレエにちなんだゲームやワークショップなどの縁日を開催した。 ゲームは当日だれでも参加でき、多くの方で賑わった。	
6 ① ②	公演名	75分映画音楽コンサート	
	公演日	① 令和5年9月1日(金) 14時開演 ② 令和5年9月1日(金) 19時開演	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 3,800円	
	入場者	① 446人【定員1,200名】 (37.2%) ② 308人【定員1,200名】 (25.7%)	

	事業内容	<p>日本コロムビア主催の、ピアニスト・作曲家の山中惇史、オーケストラなどで活躍中の演奏家との質の高いアンサンブルで、名作映画の音楽を休憩なしの75分で気軽に楽しめるコンサートを開催した。</p> <p>高齢者に馴染みのある曲目の公演を平日の昼と夜に開催し、来場者の動向を確認したが、夜の公演は昼と比較して入場者が少ない状況であった。</p> <p>【出演】 ピアノ・司会：山中惇史 〈ゲスト〉ギター：朴葵姫 ヴァイオリン：西江辰郎、ビルマン聡平 ヴィオラ：生野正樹 チェロ：富岡廉太郎 コントラバス：片岡夢児</p> <p>【曲目】 八十日間世界一周 ～映画「八十日間世界一周」 踊りあかそう ～映画「マイ・フェア・レディ」 エデンの東 ～映画「エデンの東」ほか</p> <p>【主催】 日本コロムビア株式会社</p>	
7 ①	公演名	Music Dialogue ディスカバリーシリーズ 2023-2024 字幕実況解説付き 公開リハーサル	
	公演日	令和5年9月12日（火）	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席自由] 一般 2,500円 学生 500円	
	入場者	53人【定員75名】 (70.7%)	
	事業内容	<p>音楽家同士が「対話」を行いながら音楽を作り上げていく過程を、スクリーンに映される字幕実況の解説を見ながら鑑賞する内容で、来場者にとっては音楽家の曲に対する向き合い方等、多くの質問が寄せられた。</p> <p>【出演】 太田糸音（ピアノ）、矢野玲子（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、柴田花音（チェロ）</p> <p>【曲目】 フォーレ：ピアノ四重奏曲第2番 ト短調 op. 45</p> <p>【主催】 一般社団法人 Music Dialogue</p>	
7 ②	公演名	Music Dialogue ディスカバリーシリーズ 2023-2024 9月本公演	
	公演日	令和5年9月15日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 4,000円 学生 2,000円	
	入場者	93人【定員200名】 (46.5%)	

	事業内容	<p>字幕実況付き公開リハーサルを経て、行われる本公演で、演奏後に来場者から寄せられた質問に演奏者が答え、対話を行った。</p> <p>【出演】 太田糸音（ピアノ）、矢野玲子（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、柴田花音（チェロ）</p> <p>【曲目】 ブラームス：ピアノ三重奏曲第3番 ハ短調 op.101 フォーレ：ピアノ四重奏曲第2番 ト短調 op.45</p> <p>【主催】 一般社団法人 Music Dialogue</p>
8 ① ② ③	公演名 公演日 会 場 料金等 入場者	<p>日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No. 86 倉本聰原作 渡辺俊幸作曲／吉田雄生オペラ脚本 新作初演 オペラ「ニングル」〈全2幕〉</p> <p>① 令和6年2月10日（土） ② 令和6年2月11日（日・祝） ③ 令和6年2月12日（月・振）</p> <p>大ホール</p> <p>[全席指定] S席 15,000円 A席 12,000円 B席 8,000円 C席 3,000円</p> <p>※ ヤング・フレッシュマンチケット S席・A席半額（25歳以下）</p> <p>① 879人 【定員 1,046名】／完売（84.0%） ② 856人 【定員 1,046名】／完売（81.8%） ③ 942人 【定員 1,046名】／完売（90.1%）</p>
	事業内容	<p>公益財団法人日本オペラ振興会主催の新制作のオペラを上演した。平成30年度に五島記念文化賞新人賞を受賞した、指揮者の田中祐子氏の海外研修成果発表の公演として位置づけられた。</p> <p>新作オペラ上演ならではの企画として、公演前には会場内で作品解説を、終演後は田中祐子氏（指揮）と渡辺俊幸氏（作曲）のアフタートークを実施した。チケットは全日程完売し、多くのオペラファンを中心に当ホールへ集まった。</p> <p>【主催】 公益財団法人日本オペラ振興会</p> <p>【助成】 公益財団法人東急財団（田中祐子：五島記念文化賞オペラ新人賞研修成果発表）、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団</p>



©公益財団法人日本オペラ振興会

9 ① ② ③ ④	公演名	鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン×千住博 モーツァルト オペラ「魔笛」(新制作・全2幕)	
	公演日	① 令和6年2月21日(水) ② 令和6年2月22日(木) ③ 令和6年2月24日(土) ④ 令和6年2月25日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 23,000円 A席 18,000円 B席 14,000円 C席 8,000円	
	入場者	① 963人【定員1,054名】/完売(91.4%) ② 994人【定員1,054名】/完売(94.3%) ③ 1,014人【定員1,054名】/完売(96.2%) ④ 1,012人【定員1,054名】/完売(96.0%)	
事業内容	<p>Bunkamura が自身の施設であるオーチャードホール以外のホールを利用して公演を行う「ORCHARD PRODUCE」シリーズにおける、初のオペラ公演を開催した。鈴木優人(指揮)、バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)のオリジナル楽器による演奏で、作曲者モーツァルトの時代の音色を再現した。音楽と当ホールのサイズや音響の特性との相性も良く、国内外の実力派歌手の歌唱や演技は高く評価された。</p> <p>演出はニューヨーク出身の演出家・飯塚励生、舞台美術では日本画家・千住博の美術と日本の舞台映像界をけん引するムーチョ村松による映像表現が融合し、イッセイミヤケメンのデザイナーを務めた後自らのブランド(CFCL)を設立した高橋悠介が初めて舞台衣装を手掛けたという面からも注目された。</p> <p>【主催】 Bunkamura</p>		
9 ⑤	公演名	オペラ「魔笛」特別イベント 「オペラ・作り方のひみつ～未来のオペラを想像する」 (お話とミニ・コンサート)	
	公演日	令和6年2月23日(金・祝)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般 3,000円	
	入場者	401人【定員781名】 (51.3%)	
事業内容	<p>「ORCHARD PRODUCE2024 モーツァルト オペラ《魔笛》」の関連特別イベントとして、前半は指揮者・鈴木優人と演出家・飯塚励生によるトークと、後半はBCJ(小編成)と歌手によるミニ・コンサートという構成で行われた。</p> <p>当日は、オペラファンをはじめ、小中学生ぐらいの子ども連れも多く来場した。イベント後には抽選で当選した来場者を対象に、演出家によるバックステージツアーや、指揮者によるオーケストラピット・ツアーも行われた。</p> <p>【主催】 Bunkamura</p>		

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業（3事業＝4公演）

No.	内容		
1	公演名	第12回めぐろパーシモンホール 避難訓練コンサート	
	公演日	令和5年4月23日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料（事前申込）	
	入場者	508人【定員600名】／予定枚数終了 (84.7%)	
	事業内容	<p>コンサートの途中で震度6弱の地震が発生したと想定し、ホールスタッフが来場者や出演者を避難させる避難訓練コンサートを開催した。</p> <p>晴天となった当日は、避難場所を区民キャンパス芝生広場に設定し、来場者全員と出演者が安全に避難することができた。</p> <p>今年度は目黒区にキャンパスを構える東京音楽大学の学生約70人が出演し、定番の吹奏楽曲から日本の唱歌メドレーなど、幅広い年代の来場者が楽しめる楽曲を披露した。</p> <p>【出演】 外圍祥一郎（指揮）、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル</p> <p>【後援】 目黒区</p> <p>【協力】 目黒消防署、碑文谷警察署、東急電鉄株式会社</p>	
2 ①	公演名	未来の音シリーズ vol. 35 北村陽〈チェロ〉	
	公演日	令和5年8月6日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 2,800円	
	入場者	179人【定員200名】／完売 (89.5%)	

	事業内容	<p>9歳でオーケストラと共演するなど早くから注目されてきた北村陽が演奏家としてさらなる飛躍の時期とみて開催した。</p> <p>チェロの名曲から超絶技巧の作品、現代作曲家の独奏曲などをスケールの大きな演奏で披露した。</p> <p>なお、北村陽は、本公演の翌月に行われたブラームス国際コンクールのチェロ部門で優勝した。</p> <p>【出演】 北村陽（チェロ）、大伏啓太（ピアノ）</p> <p>【曲目】 シューマン：幻想小曲集 op. 73 シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D. 821 黛敏郎：無伴奏チェロのための「BUNRAKU」 プロコフィエフ：チェロ・ソナタ ハ長調 op. 119 ロストロポーヴィチ：ユーモレスク op. 5</p> <p>《アンコール》 J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第6番より 第4曲 サラバンド</p>										
2 ②	事業内容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="360 869 892 999">公演名</td> <td data-bbox="892 869 1442 999">未来の音シリーズ vol. 36 古海行子〈ピアノ〉</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 999 892 1077">公演日</td> <td data-bbox="892 999 1442 1077">令和5年9月9日（土）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1077 892 1155">会場</td> <td data-bbox="892 1077 1442 1155">小ホール</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1155 892 1267">料金等</td> <td data-bbox="892 1155 1442 1267">[全席指定] 2,800円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="360 1267 892 1357">入場者</td> <td data-bbox="892 1267 1442 1357">176人【定員200名】／完売 (88%)</td> </tr> </table>  <p style="text-align: right;">©Takako Miyachi</p> <p>2018年高松国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝、2021年ショパン国際ピアノコンクールのセミファイナリスト、2022年にはダブリン国際ピアノコンクールで第2位など、国際的な舞台で着実に実績を積む古海行子が、「物語と演劇」をテーマに組んだプログラムを力強く演奏した。</p> <p>【曲目】 ショパン：バラード第3番 変イ長調 op. 47 ショパン：バラード第1番 ト短調 op. 23 ラヴェル：高雅で感傷的なワルツ リスト：バラード第1番 変ニ長調 S. 170 リスト：バラード第2番 ロ短調 S. 171 ストラヴィンスキー（アゴスティ編）：火の鳥</p> <p>《アンコール》 チャイコフスキー：18の小品 op. 72-4「瞑想曲」</p>	公演名	未来の音シリーズ vol. 36 古海行子〈ピアノ〉	公演日	令和5年9月9日（土）	会場	小ホール	料金等	[全席指定] 2,800円	入場者	176人【定員200名】／完売 (88%)
公演名	未来の音シリーズ vol. 36 古海行子〈ピアノ〉											
公演日	令和5年9月9日（土）											
会場	小ホール											
料金等	[全席指定] 2,800円											
入場者	176人【定員200名】／完売 (88%)											

3	公演名	気仙沼漁師カレンダー展	
	公演日	令和6年1月11日(木)～ 2月29日(木)	
	会場	めぐろ区民キャンパスプラザ地下1階	
	料金等	観覧無料	
	事業内容	<p>令和3年度まで開催してきた「東日本大震災復興支援コンサート」から引き続き、友好都市応援プログラムとして「気仙沼漁師カレンダー展」を開催した。気仙沼市の宝である漁師を発信することを目的に誕生した「気仙沼漁師カレンダー」は2024年版で10作目を迎え、今回は最後の作品となる。</p> <p>漁師と船を捉えた写真家・瀧本幹也さんの写真が見応えのあるカレンダーを各月毎に展示し、期間中はホールチケットセンターでカレンダーの販売も行った。</p>	

(2) 共催事業 (17事業=21公演)

No.	内容		
1	公演名	目黒区東山オーケストラ 第28回定期演奏会 スプリングコンサート	
	公演日	令和5年4月9日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料(事前申込)	
	入場者	前後半で延べ1,100人【定員1,054名】(104.4%) ※前舞台を使用した。	
	事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒区東山オーケストラ主催による定期演奏会を開催した。</p> <p>目黒区東山小学校特設管弦楽クラブと、そのOB・OGによる構成でクラシック曲やポピュラー曲を織り交ぜ、来場者が満足した様子が見受けられた。</p> <p>【主催】 目黒区東山オーケストラ</p>	
2 ① ②	公演名	東京インターアーツ目黒 第20回記念公演 和草(にこぐさ)コンサート	
	公演日	令和5年5月20日(土) ① 14時開演 ② 17時開演	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	全席自由 一般4,000円 小中高生1,000円 親子ペア券(一般+小中高生)4,500円 未就学児無料	
	入場者	① 105人【定員100名】/完売(105%) ② 59人【定員100名】(59%)	
事業内容	<p>東京インターアーツ目黒支部主催による邦楽と洋楽のコラボレーションのコンサートを開催した。</p> <p>ピアノ、箏、尺八の演奏以外にも、声楽や朗読を織り交ぜながら実施した。</p> <p>また、中目黒公園 花とみどりの学習館が舞台上に色鮮やかな花を生け、さらに英文のプログラムを配布する等、国際親善交流等の一助となった。これまでのコンサートの歴史を主催者が説明するなど、20回目にふさわしいコンサートになった。</p> <p>【主催】 東京インターアーツ目黒支部</p>		

3	公演名	目黒吹奏楽団 第41回定期演奏会	
	公演日	令和5年6月4日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料(事前申込)	
	入場者	857人【定員1,200名】 (71.4%)	
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒吹奏楽団による定期演奏会を開催した。</p> <p>「世界の風景」をテーマとし、世界各地の異国情緒漂う楽曲を披露した。入場には電子チケットサービスを活用し、小学生から90代まで幅広い世代の来場があった。</p> <p>【主催】 目黒吹奏楽団</p>		
4	公演名	第80回全国舞踊コンクール アンコール公演	
	公演日	令和5年6月10日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 2,600円 当日券2,900円	
	入場者	850人【定員1,200名】 (70.8%)	
事業内容	<p>東京新聞主催「第80回全国舞踊コンクール」の各部門上位入賞者がコンクール入賞演目を披露するアンコール公演を開催した。</p> <p>【主催】 東京新聞</p>		
5	公演名	第70回児童舞踊合同公演	
	公演日	令和5年6月11日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 2,000円	
	入場者	800人【定員1,200名】 (66.7%)	

	事業内容	<p>東京新聞主催の児童舞踊団体が小作品やテーマ作品を発表する合同公演を開催した。</p> <p>70回という記念として「懐かしの児童舞踊～現代（いま）へ」というテーマのもと、童謡やあそびうたを使った作品から、モダンダンスなどの現代的なエッセンスを入れた作品まで、児童舞踊の発展をダイジェストで振り返る舞台となった。</p> <p>【主催】 東京新聞</p>	
6	公演名	東京マンドリン宮田楽団 第140回定期演奏会	
	公演日	令和5年7月1日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料（事前申込）	
	入場者	838人【定員1,200名】 (69.8%)	
	事業内容	<p>目黒区内で活動する東京マンドリン宮田楽団主催による第140回定期演奏会を開催した。</p> <p>クラシックからポップスまで幅広いジャンルをマンドリンとギターで演奏し、子どもから大人まで楽しめる曲目の公演であった。</p> <p>【主催】 東京マンドリン宮田楽団</p>	
7	公演名	第21回パーシモンほたる祭り	
	公演日	令和5年7月9日（日）	
	会場	大ホール、小ホール、めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者5,000人（ほたる鑑賞1,400人含む）	
	事業内容	<p>当館周辺の小学校、中学校、高等学校、町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による地域の夏祭りを開催した。</p> <p>小ホールでのほたる観賞では、初めて専門的知識のある東武動物公園のほたりに頼り、ほたるの見せ方を一新したところ、例年より少ない数のほたるでも良く光っており、来場した方々から好評であった。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、飲食の販売を再開し、地域のお祭りとして賑わいのあるイベントとなった。</p> <p>【主催】 パーシモンほたる祭り実行委員会</p>	

8 ①	公演名	伝承講演会「歌舞伎」に親しむ	
	公演日	令和5年7月15日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000円	
	入場者	156人【定員160名】／完売 (97.5%)	
	事業内容	<p>公益財団法人北野生涯教育振興会主催の伝統文化に親しむことを目的とした「歌舞伎」のミニ公演付きの講演会を開催した。 ビデオカメラで演者の手元を写し、その様子をプロジェクターに映しながらわかりやすい解説を伴って実施した。</p> <p>【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【制作協力】 独立行政法人日本芸術文化振興会国立劇場</p>	
8 ②	公演名	伝承講演会 日本の精神文化～講談の世界～「宝井派で聴く武士道」	
	公演日	令和5年9月16日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000円	
	入場者	154人【定員160名】／完売 (96.3%)	
	事業内容	<p>公益財団法人北野生涯教育振興会主催の伝統文化に親しむことを目的とした解説付きの「講談」の公演を開催した。 若手からベテランまで5人の講談師による実演が行われた。</p> <p>【出演・番組】 宝井小琴「前講」、宝井梅湯「服部と稲垣の武士気質」、宝井琴星「義経佐藤館」、宝井琴鶴「明智左馬之介 湖水渡り」、宝井琴桜「鯉の御意見」</p> <p>【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【企画協力】 講談協会</p>	

9 ①	公演名	Music Dialogue 2023 DUO PROJECT CONCERT 公開リハーサル① 字幕実況解説付き	
	公演日	令和5年8月9日(水)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席自由] 一般2,500円 学生500円 2回通し券4,500円	
	入場者	36人【定員75名】 (48%)	
事業内容	<p>若手演奏家によるデュオをオーディションで選出し、数か月かけて世界的な音楽家によるコーチング、公開リハーサルを重ねてコンサートでその成果を披露するプロジェクトを実施した。</p> <p>全2回で構成される字幕実況の解説付きの公開リハーサルの第1回目を開催した。</p> <p>【出演】 水越菜生(ヴァイオリン)、白瀬元、上田晴子(ピアノ)、大山平一郎(コーチ)</p> <p>【曲目】 ラヴェル: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番 ト長調 M. 77 サン＝サーンス: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 ニ短調 op. 75</p> <p>【主催】 一般社団法人 Music Dialogue</p>		
9 ②	公演名	Music Dialogue 2023 DUO PROJECT CONCERT 公開リハーサル② 字幕実況解説付き	
	公演日	令和5年11月3日(金・祝)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席自由] 一般2,500円 学生500円 2回通し券4,500円	
	入場者	58人【定員75名】 (77.3%)	

	事業内容	<p>若手演奏家によるデュオをオーディションで選出し、数か月かけて世界的な音楽家によるコーチング、公開リハーサルを重ねてコンサートでその成果を披露するプロジェクトを実施した。</p> <p>全2回で構成される字幕実況の解説付きの公開リハーサルの第2回目を開催した。</p> <p>【出演】 水越菜生・竹澤恭子（ヴァイオリン）、白瀬元・上田晴子（ピアノ）、大山平一郎（コーチ）</p> <p>【曲目】 ブラームス：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番 イ長調 op. 100 サン＝サーンス：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 二短調 op. 75</p> <p>【主催】 一般社団法人 Music Dialogue</p>	
10	公演名	30周年記念 めぐる童謡コンサート	
	公演日	令和5年10月15日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 前売券1,000円 当日券1,200円 中学生以下無料	
	入場者	958人【定員1,200名】 (79.8%)	
	事業内容	<p>童謡の里めぐろ保存会主催で目黒区ゆかりの歌曲をはじめとした童謡コンサートを開催した。</p> <p>区内の学校や幼稚園の子どもたちが出演し、あらゆる世代が楽しめる公演内容であった。メインゲストの眞理ヨシコや、たいらいさお等多くのゲスト出演があり、活気ある明るいコンサートとなった。</p> <p>【主催】 童謡の里めぐろ保存会</p>	
11	公演名	身体で聴こう音楽会 第269回定期コンサート	
	公演日	令和5年10月21日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 入場無料（事前申込）	
	入場者	90人【定員200名】 (45%)	

	事業内容	<p>パイオニア株式会社主催によるコンサートを実施した。体感音響システム「ボディソニック」設置席や手話通訳、リアルタイム字幕などの活用による聴覚障がいのある方への鑑賞サポートが行われた。</p> <p>今回の公演は、福本純也チョコ・ラ・テ・ピアノトリオが出演し、リズム豊かなジャズ・ラテン音楽を障がいの有無に関わらず、楽しむことができる内容となった。</p> <p>【主催】 パイオニア株式会社</p>
12	公演名	目黒区民交響楽団 第98回定期演奏会
	公演日	令和6年1月21日(日)
	会場	大ホール
	料金等	[全席自由] 1,000円
	入場者	979人【定員1,200名】 (81.6%)
	事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する、目黒区を拠点として活動している目黒区民交響楽団主催によるオーケストラの演奏会を開催した。</p> <p>曲目は、ウェーバー作曲 歌劇「オリアンテ」序曲、ヨハン・シュトラウス2世作曲 ポルカ・ワルツ各2曲、チャイコフスキー作曲 交響曲第4番が演奏され、華やかな印象の演奏会となった。</p> <p>来場者の年齢層は幅広く、定期演奏会への複数回数の来場の割合も高いため、同団体の活動がより親しまれていることがうかがわれた。</p> <p>【主催】 目黒区民交響楽団</p>
13	公演名	第78回毎日映画コンクール
	公演日	令和6年2月14日(水)
	会場	大ホール
	料金等	入場無料(関係者招待等・区民招待200名)
	入場者	1,000人【定員1,200名】 (83.3%)
	事業内容	<p>本事業は、日本の映画産業の振興に寄与し、映画の楽しさを広く伝えることを目的に(株)毎日新聞社と(株)スポーツニッポン新聞社によって創設された映画賞の授賞式である。</p> <p>毎年1月1日から12月31日までに劇場で上映された映画を対象に、演技、作品だけではなく、撮影や美術、録音などのスタッフなど幅広い部門での受賞者が表彰された。実施後は、当ホールの名前が数多くのメディアに掲載、放送された。</p> <p>【主催】 毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社</p>



14	公演名	第 21 回めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	令和 6 年 3 月 10 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 一般 2,000 円 学生 (小・中・高・大学生) 1,000 円	
	入場者	763 人【定員 1,200 名】 (63.6%)	
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する、目黒区に縁のあるプロの音楽家で構成される目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサートを開催した。</p> <p>ピアノ独奏、声楽、ピアノ五重奏を中心に幅広い内容のプログラムとなった。子どもから高齢者まで来場し、多くの方が熱心に鑑賞する様子が見られた。</p> <p>【主催】 目黒区クラシック音楽家協会</p>		
15	公演名	北野財団混声合唱団 チャリティコンサート vol.6	
	公演日	令和 6 年 3 月 10 日 (日)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000 円	
	入場者	134 人【定員 160 名】／完売 (83.6%)	
事業内容	<p>公募による合唱団が 5 か月以上にわたって練習を重ね本番に挑んだコンサートを開催した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため合唱団員間の距離をとり、前方の客席を平土間にして、客席を減数して開催した。チケットの売上金は当初、主催者から目黒区の友好都市である気仙沼市に寄付される予定だったが、元日の能登半島沖地震を受け、寄付先が変更されることになった。</p> <p>【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

16 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2024 ～0歳からの音楽会	
	公演日	令和6年3月20日(水・祝) ① 11時開演 ② 14時30分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 前売券 2,500円 当日券 3,000円 ※ 3歳未満膝上無料	
	入場者	① 200人【定員200名】／完売(100%) ② 190人【定員200名】(95%)	
事業内容	<p>東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団が主催する0歳から入場可能な小編成オーケストラのコンサートを開催した。</p> <p>各回とも小ホールの定員に近い来場者となり、乳幼児を中心とした小さな子どもが保護者と一緒にオーケストラ演奏を楽しむ様子が見られた。クラシック曲に限らず、童謡やアニメ音楽の演奏もされ、子どもにも親しめる内容となった。例年好評な指揮者コーナーが今年も行われ、抽選で選ばれた子どもが指揮体験をすることができた。</p> <p>【出演】 稲田康(指揮)、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>【ゲスト】 古山あゆみ(声優)</p> <p>【主催】 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>【地元協賛出演】 自由ヶ丘学園高等学校吹奏楽部</p>		
17	公演名	第81回全国舞踊コンクール	
	公演日	令和6年3月25日(月) ～4月6日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	3,830人(延べ人数)	
事業内容	<p>東京新聞主催の日本における若手舞踊家の登竜門とされている全国舞踊コンクールを開催した。</p> <p>今年で81回目を迎え、バレエ、群舞、現代舞踊、児童舞踊、邦舞、創作舞踊の計6部門に759組、1,200人が出場し、予選・決選の様子は全国舞踊コンクールホームページにてライブ配信された。</p> <p>【主催】 東京新聞</p>		

3 体験・普及事業（4事業＝49公演）

1 ①	公演名	子どものためのワークショップ 2023 演劇入門ワークショップ	
	公演日	令和5年6月18日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,500円	
	入場者	参加者34人【定員30名】予約受付終了	
	事業内容	<p>例年、参加申込開始後の数日で定員に達する人気のワークショップで、今回も早々に参加者の定員に達した。</p> <p>参加者の演劇経験の有無は問わないため、多くの子どもたちに演劇に触れる機会を提供するワークショップで、簡単なコミュニケーションゲームから始まり、講師の脚本を元に自分たちでセリフを加えて芝居を創作するという内容を行い、参加者からの満足度も高かった。</p> <p>【対象者】 中学生、高校生</p> <p>【講師】 平田オリザ（劇作家、演出家）</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 有限会社アゴラ企画</p>	
1 ②	公演名	子どものためのワークショップ 2023 ダンスワークショップ	
	公演日	令和5年7月24日（月）～27日（木） ※ 最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 2,000円 [発表会] 入場無料	
	入場者	参加者17人【定員20名】予約受付終了 発表会38人	
	事業内容	<p>ワークショップでは様々な動きやダンスを経験しながら、最終日にミニ発表会を行うという内容で実施した。</p> <p>今回の発表会のテーマは「地球人の休暇」。ワークショップでは楽しく体を動かすことを目的とし、発表会ではワークショップで体験した内容を来場者に見ていただいた。</p> <p>【対象者】 小学4年生から中学3年生まで</p> <p>【講師】 近藤良平（コンドルズ主宰、振付家、ダンサー）、ジントク（コンドルズメンバー、ダンサー）</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

1 ③	公演名	子どものためのワークショップ 2023 演劇ワークショップ	
	公演日	令和5年7月25日(火)～29日(土) ※最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 3,500円 [発表会] 入場無料	
	入場者	参加者 21人【定員 20名】予約受付終了 発表会 46人	
事業内容	<p>4日間のワークショップで演劇作品を創作し、最終日に発表会を実施した。今年の発表会はチューホフの『桜の園』を元に、講師と共に参加者が話し合いながら脚本を創り上げたオリジナルの作品を上演した。</p> <p>【対象者】 中学生、高校生</p> <p>【講師】 大池容子（うさぎストライプ主宰、劇作家、演出家）</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年6月7日(水)	
	会場	目黒区立不動小学校 音楽室	
	入場者	小学5年生 110人	
	事業内容	<p>不動小学校の5年生は鼓笛活動を開始することから、毎年、金管五重奏のアウトリーチを実施している。</p> <p>今回、先生から鼓笛隊の楽器「アルトホルン」の魅力を伝えて欲しいとの要望を受け、プログラムにアルトホルンをメインに置いた楽曲を披露するなど、これから子どもたちが体験するそれぞれの楽器の魅力をプロのアーティストの音色と共に届けることができた。</p> <p>【出演】 原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年6月29日(木)	
	会場	目黒区立みどりがおかこども園 遊戯室	
	入場者	3~5歳児 72人	
	事業内容	<p>園からのリクエストで初めてこども園で邦楽のアウトリーチを実施した。大きな音ができることをあらかじめ園に伝え、大きな音が苦手な園児は後ろの方から聴いてもらうようお願いした。また、園から提示してもらった子どもたちが普段歌っている歌とダンスの曲目を演奏するなど、全身で演奏を楽しめるよう工夫した。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年7月3日(月)	
	会場	目黒区立鷹番小学校 音楽室	
	入場者	小学5年生 54人	
	事業内容	<p>チェロとピアノのコンサートを音楽室で開催した。エルガーの愛のあいさつ、サン＝サーンスの白鳥など、子どもたちも聞いたことがある曲も交えながら、チェロとピアノの独奏、ラフマニノフとフランクのソナタから一部楽章を抜粋し、子どもたちの集中力も考慮したプログラムとした。</p> <p>質問コーナーでは出演者が気さくに、かつ丁寧に答えており、子どもたちもリラックスして対話していたように見受けられた。</p> <p>【出演】 辻本玲(チェロ)、エマニュエル・リモルディ(ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年7月4日(火)	
	会場	目黒区立月光原小学校 ランチルーム	
	入場者	小学4年生 57人	
	事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、子どもたちがより近い場所で演奏を聴けるよう、校舎内の少し広めの部屋で邦楽のアウトリーチを実施した。</p> <p>子どもたちは和太鼓の大きな音に少し驚いた様子ではあったが、それぞれの楽器の説明も含めて非常に熱心に聴いていた。</p> <p>【出演】 小山豊（津軽三味線小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年7月4日(火)	
	会場	目黒区立宮前小学校 音楽室	
	入場者	小学4年生 49人	
	事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、会場を体育館から音楽室に戻して実施した。</p> <p>ヴァイオリンとピアノのデュオの他、楽器の説明を交えながらヴァイオリン独奏、ピアノ独奏を入れ、それぞれの楽器の魅力を伝えた。プログラムの最後に実施していた、児童の歌唱との共演も復活した。</p> <p>【出演】 南紫音（ヴァイオリン）、山中惇史（ピアノ）</p> <p>【共催】 NPO 法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年7月10日(月)	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園 遊戯室	
	入場者	4、5歳児 38人	
	事業内容	<p>園から和太鼓ソロでの希望があったが、初めての試みだったため、出演者と入念に打合せをし、ワークショップの要素を交えた内容でアウトリーチを実施した。</p> <p>子どもたちにバチの持ち方、叩き方を説明し、子どもたちに数人ずつ前に出てきてもらい、実際に太鼓を叩いてもらった。子どもたちが叩いた太鼓は区内児童館から、園が借用したものを使用した。</p> <p>【出演】 大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年7月11日(火)	
	会場	目黒区立田道小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 77人	
	事業内容	<p>スペースの関係で音楽室での開催が難しいとのことだったため体育館での開催となったが、子どもたちと演奏者の距離がなるべく近くなるよう考慮した上で、邦楽のアウトリーチを実施した。</p> <p>子どもたちは終始真剣な表情で演奏に耳を傾け、質問コーナーでは積極的に手を挙げていた。中には演奏に合わせて太鼓を叩いたり、三味線を弾いたりするしぐさをしていた子どもたちも見受けられた。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年9月5日(火)	
	会場	目黒区立げっこうはらこども園 遊戯室	
	入場者	3~5歳児 61人(年齢別に分けて実施)	
	事業内容	<p>目黒区立げっこうはらこども園の遊戯室で年齢ごとに3回に分けて実施した。講師は子どもの能力を見極めながら内容や方法を変え、分かりやすい言葉で接しており、各年齢の子どもたちはそれぞれ楽しみながら参加していた。</p> <p>【出演】 安西くるみ・後藤健太朗・岸本花(東京バレエ団ダンサー)、松木慶子(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月2日(月)	
	会場	目黒区立東根小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 117人	
	事業内容	<p>令和2年度より金管アウトリーチを継続して希望されており、児童数の多い学校であることから、体育館での実施となっている。</p> <p>特に今回は、コロナ禍で実施を見送っていた楽器体験が復活した。学校の楽器であるトランペットとトロンボーンをお借りして、3人の児童がチャレンジし、苦戦しながらも音を出すことができ、貴重な体験となった。</p> <p>【出演】 原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月4日(水)	
	会場	目黒区立第八中学校 音楽室	
	入場者	中学2年生56人 支援学級16人	
	事業内容	<p>目黒区立第八中学校は毎年声楽のプログラムを実施している。今回は4年ぶりに音楽室で実施した。当初合唱指導を行う予定だったが、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の影響で欠席者が多かったため、合唱指導は行わず、説明を長めにする等調整しながら開催した。</p> <p>【出演】 松原みなみ (ソプラノ)、小林大祐 (バリトン)、大野真由子 (ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>	
2 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月4日(水)	
	会場	小ホール	
	入場者	目黒区心身障害者センターあいアイ館 利用者28人、職員20人	
	事業内容	<p>めぐろ区民キャンパス内にある目黒区心身障害者センターあいアイ館利用者を対象とした打楽器のアウトリーチプログラムを小ホールにて実施した。こども園や幼稚園でのアウトリーチ、開館20周年イベントへの出演経験もある打楽器トリオのMaicologyが出演し、オリジナル曲から四季の唱歌メドレーまで楽しめる内容となった。</p> <p>施設担当者からのフィードバックでは、利用者の表情が明るくなり笑顔も見られた等の高評価をいただいた。</p> <p>【出演】 Maicology (マイコロジー) 宮本まいこ (スティールパン)、宮野下シリユウ (マリンバ)、中丸達也 (パーカッション)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月4日(水)	
	会場	目黒区立五本木小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 57人	
	事業内容	<p>音楽の授業で和楽器を取り上げるため、邦楽を希望するとの学校側の意向に沿って実施した。 出演者のお子さんが同校に在籍していることから、担当の音楽教諭が出演者と直接話し、出演者と同教諭が1曲共演するという独自のプログラムになった。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月5日(木)	
	会場	目黒区立菅刈小学校 多目的室	
	入場者	小学6年生 49人	
	事業内容	<p>令和4年度はコロナ対策のため体育館で実施したが、5年度から多目的室を会場とした、より間近に生の演奏を体験できるプログラムが復活した。 また、最後に演奏家と子どもたちが合唱で共演し、一緒に歌えて楽しかったという感想があった。</p> <p>【出演】 周防亮介(ヴァイオリン)、エマニュエル・リモルディ(ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月12日(木)	
	会場	目黒区立駒場小学校 体育館	
	入場者	小学6年生60人	
事業内容	<p>ワールドミュージック(ラテン・ジャズ)のアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>子どもたちは、音楽室にあるマラカスやギロなどの普段何気なく演奏している楽器がアーティストの手によって多彩な音色が生まれる瞬間を目の当たりにし、かなり驚いている様子だった。</p> <p>また、コロナ禍では実施を見合わせていた楽器体験を再開し、子どもたちが積極的にプログラムに参加する様子が見られた。</p> <p>【出演】 荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月17日(火)	
	会場	目黒区立中目黒小学校 体育館	
	入場者	小学6年生80人	
事業内容	<p>ワールドミュージック(ラテン・ジャズ)のアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>対象学年の子どもたちの中には、昨年度の6年生が同ジャンルの本プログラムを鑑賞している姿を目にしたことがあり、実施を楽しみにしていたという児童が多くいた。</p> <p>ラテン音楽の基礎となるリズムを会場全体で刻みながら演奏を聴くことで、子どもたちも実際に演奏に参加することができるプログラムであった。</p> <p>【出演】 荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月27日(金)	
	会場	目黒区立烏森小学校 体育館	
	入場者	小学4、5年生124人	
事業内容	<p>金管五重奏では、子どもたちとの距離と音のボリュームなどを考慮して会場を体育館に設定することが多いが、今回も体育館での実施となった。</p> <p>また、コロナ禍中は実施できなかった楽器体験コーナーを担当教員との協議の上実施したところ、楽しみながらより楽器や音楽への関心が高まったようだった。</p> <p>【出演】 田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、山岸リオ(ホルン)、栗田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年10月31日(火)	
	会場	目黒区立上目黒小学校 音楽室	
	入場者	小学5、6年生95人	
事業内容	<p>音楽室で学年ごと2回にわけて声楽のアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>5年生は2クラスのうち1クラスが学級閉鎖になっており、非常に少人数での開催だったが、集中して演奏を聴き、合唱指導では小さいながらもきれいな声を響かせていた。</p> <p>6年生は出演者から依頼されて元気に掛け声をかけてくれ、合唱指導では堂々とした歌声を聴かせてくれた。</p> <p>【出演】 荒牧小百合(ソプラノ)、青山貴(バリトン)、古川かりん(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>		

2 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年11月13日(月)	
	会場	目黒区立東が丘在宅多機能センター 東が丘デイホームしいの木	
	入場者	27人	
事業内容	<p>区内特別養護老人ホームでのアウトリーチプログラムは、コロナ禍を経て4年ぶりの実施となった。</p> <p>秋の童謡や懐かしい歌謡曲を取り入れたプログラムで、目黒区民交響楽団の弦楽メンバーによる演奏をお届けした。</p> <p>施設内での感染症対策のため、例年よりは少ない人数で実施されたが、聴き馴染みのある曲目で会場全体が盛り上がり笑顔溢れる演奏会となった。</p> <p>【出演】 目黒区民交響楽団弦楽メンバー望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴィオラ）、橋本安男（チェロ）、村上千香（司会）</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ⑲	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年11月14日(火)	
	会場	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	
	入場者	150人	
事業内容	<p>東京医療センターでのアウトリーチプログラムは、コロナ禍の影響により4年ぶりの実施となった。</p> <p>演奏は目黒区内にキャンパスを持つ東京音楽大学の学生2名に依頼し、ヴァイオリン・ヴィオラ・ピアノによるコンサートを開催した。</p> <p>誰もが一度は聴いたことのあるクラシックの名曲から本格的なソナタまで、バリエーション豊かなプログラムをお届けし、会場には外来患者の方のみならず入院患者の方やセンター職員の方の姿も多く見られた。</p> <p>【出演】 東京音楽大学 ACT Project エリアコンサートチーム 折本智英美（ヴァイオリン、ヴィオラ）、久野真理愛（ピアノ）</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年11月20日(月)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生77人	
事業内容	<p>緑ヶ丘小学校の体育館を使用して、木管アウトリーチを実施した。クラシックから聴き馴染みのある楽曲など、表情豊かな木管五重奏アンサンブルを楽しめるプログラムとなった。</p> <p>また、質問コーナーでは、楽器の疑問や音楽を始めたきっかけなど多くの質問があり、本事業を通して音楽への興味関心がより深まっていることを実感した。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、春田傑(クラリネット)、濱地宗(ホルン)、坪谷陸(ファゴット)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年11月29日(水)	
	会場	目黒区立中根小学校 体育館	
	入場者	小学6年生73人	
事業内容	<p>4年ぶりの開催となった中根小学校のアウトリーチプログラムは、ワールドミュージックにて実施した。</p> <p>1時間を使って7種類の楽器体験を含む全4曲のプログラムとなった。楽器体験では、ボンゴやマラカスなどの子どもたちが目にしたことがある楽器から、シェケレやティンバレスなどの普段は触れることのない楽器まで、様々な種類の打楽器をアーティストと一緒に演奏することで、プロの音色を間近で体験することができた。</p> <p>ラテンアレンジされた校歌の歌唱では、子どもたちがラテンのリズムを取りながら一生懸命歌っている姿が印象的だった。</p> <p>【出演】 荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ②②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年12月5日(火)	
	会場	目黒区立原町小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生90人	
事業内容	<p>鑑賞していただく学年が2学年と多いことから、体育館での実施となったが、どの学年も集中して音楽に耳を傾けていた。</p> <p>本プログラムは、出演者が編曲している楽曲がいくつかあり、聴き馴染みのある楽曲でも、アレンジによって異なる雰囲気を楽しむことができる。このように、金管楽器の演奏はもちろんのこと、音楽本来の面白さにも触れられる構成が、児童たちの音楽への興味関心を引き付けるきっかけとなった。</p> <p>【出演】 原田照久(トランペット)、関間健太(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ②③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年12月7日(木)	
	会場	目黒区立第一中学校 音楽室	
	入場者	中学3年生35人	
事業内容	<p>音楽室を会場にヴァイオリンとピアノのプログラムを実施した。</p> <p>ヴァイオリン無伴奏の作品など耳なじみのない作品も並んだが、説明を交えながら演奏したところ集中して聴いている様子が見られた。受験前の3年生が対象だったこともあり、質疑応答の時間には将来へのアドバイスなどを求める質問があり、プロフェッショナルの言葉を真剣に聞く様子が見られた。</p> <p>【出演】 戸田弥生(ヴァイオリン)、梶木久遠(ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ②④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年12月8日(金)	
	会場	東京都立目黒高校 体育館	
	入場者	高校1年生240人	
	事業内容	<p>1学年の人数が多いため体育館で実施した。演奏は高い集中力で聴いていたが、質疑応答では出演者の親しみやすい人柄と語り口で、生徒たちの緊張が、徐々にほぐれてリラックスして楽しんでいる様子が見受けられた。</p> <p>【出演】 辻本玲(チェロ)、田村響(ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ②⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年12月11日(月)	
	会場	目黒区立油面小学校 体育館	
	入場者	小学4年生86人、わかたけクラス4人	
	事業内容	<p>対象となる4年生は、音楽の授業で木管楽器を学習する時期のため、授業の内容に合わせてぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管アウトリーチを実施した。</p> <p>事前に楽器について学習していただき、その後プロの演奏を間近で聴く流れとなっており、木管楽器の魅力をより深く感じられるプログラムとなった。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、春田傑(クラリネット)、濱地宗(ホルン)、坪谷陸(ファゴット)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

2 ②⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和5年12月14日(木)	
	会場	目黒日本大学中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 106人	
	事業内容	<p>昨年度に引き続き、区内私立中学校である当校の2年生を対象に実施した。ピアノがステージ上にあるため演奏場所はステージ上であったが、生徒がより近い位置で鑑賞できるよう調整した。</p> <p>【出演】 辻本玲(チェロ)、田村響(ピアノ)</p> <p>【共催】 NPO法人子どもに音楽を</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ②⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年1月15日(月)	
	会場	目黒区立向原小学校 音楽室	
	入場者	小学5年生 49人	
	事業内容	<p>4年ぶりに音楽室で声楽のプログラムを行った。 出演者が簡単な演出を入れながらすぐそばまで行って歌ったりしたため、子どもたちが楽しみながらも集中して最後まで聴いていた。 また、合唱指導のコーナーでは翌週に参加する「目黒区連合音楽会」で演奏する曲の指導を真剣に受けていた。</p> <p>【出演】 藤井冨(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【企画・協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>	

2 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年1月18日(月) 令和6年1月19日(火)	
	会場	目黒区立東山小学校 音楽室	
	入場者	小学6年生 175人	
事業内容	<p>大規模校の音楽室での開催だったため、3回(2日間)にわけ、3回とも同じ演奏者、同じプログラムで行った。</p> <p>東山小は今年度のNHK音楽コンクールで全国金賞に輝いた学校であり、合唱指導に力を入れているということを出演者側が鑑み、プログラムを組み立てた。合唱指導のコーナーでは、卒業式で歌う国歌と校歌の指導が行われた。</p> <p>【出演】 湯浅桃子(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、谷合千文(ピアノ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 NPO法人日本声楽家協会</p>		
2 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年1月19日(火)	
	会場	目黒区立第十中学校 音楽室	
	入場者	中学2年生 142人	
事業内容	<p>同校の卒業生でもあるピアニスト白石光隆さんと、サクソフォン奏者の田中靖人さんによる演奏を実施した。</p> <p>サクソフォンは音域によって7種類もの楽器を使い分けているが、今回はソプラノとアルトの2種類の楽器で演奏し、クラシックからサンバ、ジャズなど音楽で世界を旅しているようなプログラムを披露した。</p> <p>【出演】 白石光隆(ピアノ)、田中靖人(サクソフォン)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ③⑩	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年1月30日(火)	
	会場	目黒区立八雲小学校 体育館	
	入場者	小学4、5年生130人	
事業内容	<p>八雲小学校では、ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏を初めて実施した。クラブ活動で金管楽器には馴染みがあるが、木管楽器には触れる機会がないという事前の申し出が学校からあり、楽器紹介の際は生徒の近くに寄って間近で楽器が見られるように工夫した。</p> <p>アンコールで演奏した「君をのせて」では、演奏に合わせて歌を口ずさんでいる児童がいて、他のプログラムのように木管五重奏でも児童との交流演奏の機会を設けることを今後検討する。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、福井萌(クラリネット)、信末碩才(ホルン)、長谷川太郎(ファゴット)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ③⑪	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年2月2日(金)	
	会場	目黒区立下目黒小学校 体育館	
	入場者	小学5年生84人	
事業内容	<p>ラテン音楽の歴史や演奏に使用される楽器の解説と演奏に、子どもたちの楽器体験を加えた、ワールドミュージック(ラテン・ジャズ)のアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>楽器体験では、クラベス、ギロ、マラカス、カバサの4種類の学校楽器も用いて、実際にプロフェッショナルの演奏を鑑賞するだけでなく、出演者と子どもたちが同じ楽器を一緒に演奏できるような工夫を施した。</p> <p>【出演】 荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ③②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年2月7日(水)	
	会場	目黒区立第九中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 56人	
事業内容	<p>金管五重奏のアウトリーチは出演者が編曲している楽曲も多く、そのアレンジの仕方によって音楽の印象が変わることを、誰もが知っている「かえるの歌」を元に紹介したり、生徒たちに馴染みのある「校歌」などを用いて、音楽が変化する面白さを感じてもらえるプログラムとなっている。</p> <p>また、吹奏楽部員の生徒からは練習に関する悩みや質問も飛び交い、出演者と交流する場面も多く見受けられた。</p> <p>【出演】 古土井友輝(トランペット)、金子美保(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ③③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年2月8日(木)	
	会場	目黒区立大岡山小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 123人	
事業内容	<p>アウトリーチプログラムでは初の弦楽四重奏のプログラムを実施した。</p> <p>アウトリーチの経験が豊富なチェロの加藤文枝が進行役となり様々な作品を引用しながら、音楽のメロディー、ハーモニー、リズムの要素について、長調と短調の印象の違いについて、曲の一部を聞いて朝と夜どちらをイメージするかなど、子どもたちと対話しながら解説した。そのうえで15分程度の弦楽四重奏曲の1楽章をしっかりと聴いてもらうという内容で、「聴く」と「知る」のバランスが取れた内容であった。</p> <p>【出演】 城戸かれん(ヴァイオリン)、北川千紗(ヴァイオリン)、田原綾子(ヴィオラ)、加藤文枝(チェロ)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【協力】 一般社団法人 Music Dialogue</p>		

2 ③④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年2月9日(金)	
	会場	目黒区立東山中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 117人	
事業内容	<p>平成21年度以来の開催となった東山中学校でのアウトリーチでは、ぱんだウインドオーケストラメンバーによる打楽器アンサンブルを実施した。</p> <p>バスドラム・グロッケンなど学校から借用する楽器のほかに、出演者がマリリンバなどを持ち込んで10種類以上もの打楽器が並ぶ見応えのあるプログラムとなった。</p> <p>アンコールでは生徒もボディパーカッションで演奏に参加するなど体験型の曲も披露した。</p> <p>【出演】 ぱんだウインドオーケストラメンバーによる打楽器アンサンブル 竹内美乃莉、日比彩湖、吉田開(パーカッション)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ③⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年2月22日(木)	
	会場	目黒区立碑小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 110人	
事業内容	<p>碑小学校では、昨年度に引き続き三味線、尺八、和太鼓による邦楽のアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>全国の民謡や流行歌の演奏と各楽器の解説や独奏を中心としたプログラム構成で、子どもたちにとって日本の伝統文化への入口にはふさわしい機会となった。</p> <p>【出演】 小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ③⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年3月4日(月)	
	会場	自由ヶ丘学園高校 カフェテリア	
	入場者	高校1~3年生の吹奏楽部員 38人	
事業内容	<p>昨年度に引き続き、自由ヶ丘学園にてラテン・ジャズのアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>授業時間の関係で吹奏楽部員を対象に実施することとなったため、他の学校で実施している編成に、メロディー楽器であるフルートを加えた5人編成で実施した。</p> <p>普段部員たちが演奏しているレパートリーのリズムを取り入れたプログラム構成で、どのパートの部員も楽しむことができ、実際の部活動にも生かすことのできる解説が盛り込まれた充実した内容となった。</p> <p>【出演】 荒川“B”琢哉(コンガ)、岡本健太(パーカッション)、中村彩香(ピアノ)、岡本竜太(ベース)、柳原聡美(フルート)</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
3 ① ②	公演名	大人の演劇ワークショップ《入門編》 「いま、あらためて、ままごと」	
	公演日	① 令和6年1月27日(土) ② 令和6年1月28日(日) ※ 1日完結2回開催	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,000円 (抽選・一部選考あり)	
	入場者	① 20人【定員20名】 ② 20人【定員20名】 ※ 全体申込者数 106人	
事業内容	<p>劇団「ままごと」のメンバー柴幸男、端田新菜を講師に迎えて大人の演劇ワークショップを開催した。</p> <p>これまで、発表会を含む約1週間程度の日数で開催してきたが、今回は演劇初心者でも参加しやすいよう、初めて1日完結型の入門ワークショップとして実施した。</p> <p>前半は演劇の要素を踏まえた様々なワークに取り組み、後半は演劇の子どもの頃に親しんだ遊び「ままごと」をテーマに、グループごとにお題に沿った短い演劇を作って発表した。短い時間ながらも参加者同士が意見を出し合い、共に演劇を作り上げ演じるという過程を体験できる時間となった。</p> <p>【講師】 ままごと — 柴幸男、端田新菜</p>		

4 ① ⑧	公演名	ぱんだウインドオーケストラ 中学生吹奏楽部 直接指導	
	公演日 会場 入場者	<p>① 令和6年1月23日(火) 目黒区立目黒中央中学校(15人)</p> <p>② 令和6年1月30日(火) 目黒区立第八中学校(9人)</p> <p>③ 令和6年2月6日(火) 目黒区立東山中学校(15人)</p> <p>④ 令和6年2月13日(火) ※合同練習 目黒区立第七中学校(14人) 目黒区立第九中学校(4人)</p> <p>⑤ 令和6年2月29日(木) 目黒区立第十中学校(22人)</p> <p>⑥ 令和6年3月4日(月) 目黒区立大鳥中学校(17人)</p> <p>※ 令和6年3月5日(火) ※中止 目黒区立第一中学校(6人)</p> <p>⑦ 令和6年3月12日(火) ※2回目 目黒区立目黒中央中学校(15人)</p> <p>⑧ 令和6年3月14日(木) ※2回目 目黒区立第八中学校(9人)</p>	 
	事業内容	<p>令和6年6月に開催する若手吹奏楽団「ぱんだウインドオーケストラ」公演の特別企画として、区立中学校吹奏楽部全8校を対象にオーケストラメンバーの直接指導を実施した。各校の部活動の時間帯に講師が訪問し、金管・木管・打楽器それぞれのセクションに分かれて、基礎練習から生徒たちが現在練習している曲を中心に指導にあたった。直接指導は令和6年1月～6月の間に各校2～3回程度実施する予定で、令和5年度は急遽中止となった学校があったものの2回目の開催含め全体で8回の指導を実施した。</p> <p>令和6年4月以降も引き続き直接指導を実施するとともに、6月公演での共演も本事業の特別企画として検討していることから、今後も各学校の顧問と連携して調整を進めていく。</p> <p>【講師】 第1回目～第6回目までは上野耕平(サクソ)、佐藤采香(ユーフォonium)、日比彩湖(打楽器)、第7回目は福井萌(クラリネット)、山下純平(トロンボーン)、8回目は春田傑(クラリネット)、松永遠(トロンボーン)、秋生智之(打楽器)</p>	

令和5年度めぐろパーシモンホールアウトリーチプログラム実績一覧

No.	月日	施設名	参加者	出演者
1	令和5年 6月7日(水)	不動小学校	5年生 110人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
2	6月29日(木)	みどりがおか こども園	3~5歳児 72人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
3	7月3日(月)	鷹番小学校	5年生 54人	辻本玲(チェロ)、エマニュエル・リモルディ(ピアノ)
4	7月4日(火)	月光原小学校	4年生 57人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
5	7月4日(火)	宮前小学校	4年生 49人	南紫音(ヴァイオリン)、山中惇史(ピアノ)
6	7月10日(月)	ひがしやま 幼稚園	4、5歳児 38人	大多和正樹(和太鼓)
7	7月11日(火)	田道小学校	5年生 77人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
8	9月5日(火)	げっこうはら こども園	3~5歳児 61人	東京バレエ団ダンサー 安西くるみ(ダンサー)、後藤健太朗(ダンサー)、岸本花(ダンサー)、松木慶子(ピアノ)
9	10月2日(月)	東根小学校	5年生 117人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
10	10月4日(水)	第八中学校	2年生 56人 支援学級 16人	松原みなみ(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)
11	10月4日(水)	心身障害者センターあいアイ館	28人 (職員20人)	Maicology(マイコロジー) 宮本まいこ(スティールパン)、宮野下シリウ(マリンバ)、中丸達也(パーカッション)
12	10月4日(水)	五本木小学校	4年生 57人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
13	10月5日(木)	菅刈小学校	6年生 49人	周防亮介(ヴァイオリン)、エマニュエル・リモルディ(ピアノ)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
14	令和5年 10月12日(木)	駒場小学校	6年生 60人	荒川琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)
15	10月17日(火)	中目黒小学校	6年生 80人	荒川琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)
16	10月27日(金)	烏森小学校	4、5年生 124人	田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、山岸リオ(ホルン)、栞田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
17	10月31日(火)	上目黒小学校	5、6年生 95人	荒牧小百合(ソプラノ)、青山貴(バリトン)、古川かりん(ピアノ)
18	11月13日(月)	東が丘在宅多機能センター 東が丘デイホームしいの木	27人	目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、村上千香(司会)
19	11月14日(火)	独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	150人	東京音楽大学メンバー 折本智英美(ヴァイオリン、ヴィオラ)、久野真理愛(ピアノ)
20	11月20日(木)	緑ヶ丘小学校	5、6年生 77人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、春田傑(クラリネット)、濱地宗(ホルン)、坪谷陸(ファゴット)
21	11月29日(水)	中根小学校	6年生 73人	荒川琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)
22	12月5日(火)	原町小学校	5、6年生 90人	原田照久(トランペット)、関間健太(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
23	12月7日(木)	第一中学校	3年生 35人	戸田弥生(ヴァイオリン)、梶木久遠(ピアノ)
24	12月8日(金)	都立目黒高校	1年生 240人	辻本玲(チェロ)、田村響(ピアノ)
25	12月11日(月)	油面小学校	4年生 86人 わかたけ クラス 4人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、春田傑(クラリネット)、濱地宗(ホルン)、坪谷陸(ファゴット)
26	12月14日(木)	目黒日本大学 中学校	2年生 106人	辻本玲(チェロ)、田村響(ピアノ)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
27	令和6年 1月15日(月)	向原小学校	5年生 49人	藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)
28	1月18日(月) 19日(火)	東山小学校	6年生 175人	湯浅桃子(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、谷合千文(ピアノ)
29	1月19日(火)	第十中学校	2年生 142人	白石光隆(ピアノ)、田中靖人(サクソフォン)
30	1月30日(火)	八雲小学校	4、5年生 130人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 林広真(フルート)、山本楓(オーボエ)、福井萌(クラリネット)、信末碩人(ホルン)、長谷川太郎(ファゴット)
31	2月2日(金)	下目黒小学校	5年生 84人	荒川琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)
32	2月7日(水)	第九中学校	2年生 56人	古土井友輝(トランペット)、金子美保(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
33	2月8日(木)	大岡山小学校	6年生 123人	城戸かれん(ヴァイオリン)、北川千紗(ヴァイオリン)、田原綾子(ヴィオラ)、加藤文枝(チェロ)
34	2月9日(金)	東山中学校	2年生 117人	ぱんだウインドオーケストラメンバー 竹内美乃莉(打楽器)、日比彩湖(パーカッション)、吉田開(パーカッション)
35	2月22日(木)	碑小学校	6年生 110人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
36	3月4日(月)	自由ヶ丘学園 高校	1～3年生 38人	荒川琢哉(コンガ)、岡本健太(パーカッション)、中村彩香(ピアノ)、岡本竜太(ベース)、柳原聡美(フルート)

[合計36施設 / 3,132人]

(小学校22校、中学校6校、高校2校、こども園2園、幼稚園1園、その他3施設)

4 芸術文化情報の収集と発信

主催事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、従来のめぐろ区報への情報掲載や区内施設へのチラシ発送などの広報活動に加え、情報紙の発行やSNS等、様々な媒体を活用しながら、利用者にとってより分かりやすい芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1) 自社媒体

① 情報紙「アートレター」の発行

情報紙の紙面は、8ページ構成のカラーで年4回発行している。内容も公演情報だけではなく、出演者コメントや事業報告など企画記事を掲載し、公演の特色やホールの活動を分かりやすく紹介している。

<主な企画記事>

- 共催事業のオペラ2公演を2月の目玉公演として取り上げ、あらすじを掲載した。(VOL. 85)
- 広報ボランティアが執筆した「小松亮太」公演レポートを一部抜粋して掲載した。(VOL. 86)
- 来館者の利便性が高くなるホールの施設改修工事が行われ、そのリニューアル箇所を一部紹介した。(VOL. 86)

<前年度からの変更点>

令和4年度までは新聞折り込みを74,000部実施していたが、5年度に印刷費が増額したことにより新聞折り込み部数を15,000部減らし、区内小中学校・幼稚園などに全校配布(約14,000部・無料)を新たに実施することとした。

号数	発行日	発行部数	主な発送先 ※部数はVOL.87 発送時参考
VOL.84 夏号	令和5年7月2日	80,000部	新聞折り込み: 59,000部 全校配布(小・中学校等): 13,699部 区内施設・近隣施設: 2,798部 関係者: 1,352部 希望者個人発送: 861部 プレス: 130部 区内各駅配架: 160部 施設内配架・挟み込み: 2,000部 合計: 80,000部
VOL.85 秋号	令和5年10月1日		
VOL.86 冬号	令和6年1月5日		
VOL.87 春号	令和6年3月17日		

② ホームページ

今年度よりホールの取組への興味や関心を喚起するため、開館から実施しているシリーズ公演を紹介したアーカイブページを新たに作成し公開した。

ホームページ 全体アクセス数 (ページビュー数及び表示回数)		
令和5年度	1,152,037	※ 解析方法の変更により、前年度との比較は出来ない。
令和4年度	1,024,975	※ 3年度より257,614件増
令和3年度	767,361	※ 2年度より254,094件増

③ SNS・YouTube 運用

今年度より新たにInstagramを開設し、SNSを効果的に活用しながら事業の周知やホールのPRに繋げた。公演の雰囲気が伝わるような写真や動画をアップし、引き続き拡散したくなるような素材について工夫していく。運用媒体が増えたため、スムーズに運用できるよう、あらかじめ投稿スケジュールを作成するなどして、計画的に運用できるよう努めていく。

ア SNS等推移

※ カッコ内は前年度からの増減数

SNS等 推移		令和5年度	令和4年度	令和3年度
X 旧:Twitter	フォロワー	1,291人 (+232)	1,059人 (+354)	705人 (+223)
	投稿数	266件 (-105)	371件 (+159)	212件 (+63)
Facebook	フォロワー	753人 (+44)	709人 (+134)	575人 (+60)
	投稿数	159件 (-20)	179件 (+13)	166件 (+54)
Instagram	フォロワー	64人	—	—
	投稿数	35件	—	—
	ストーリー	101件	—	—
YouTube	フォロワー	889人 (+185)	704人 (+485)	219人 (+105)
	投稿数	10本 ※ 限定公開 1本	13本 ※ 限定公開 3本	7本 ※ 限定公開 25本

イ YouTube 投稿内容

1 【小松亮太 タンゴ・アンサンブル】 アーカイブ配信 2本

- ラ・クンパルシータ (7,434回視聴)
※ ソニーミュージックのYouTubeサイトに公開
- 公演ダイジェスト動画 (1,289回視聴)

2 【フレッシュ名曲コンサート・キャンペーン 中野りな】 アーカイブ配信 1本
クライスラー：愛の喜び (1,983回視聴)

④ メールマガジン

チケット販売システムを活用し、登録者に対してホール情報を定期的に発信している。各事業のチケット発売に合わせて配信するほか、チケット購入者に絞った案内等を行った。

年度	実績
令和5年度	登録者数：8,145人 (前年度より 1,107人増) 配信件数： 21件
令和4年度	登録者数：7,038人 (前年度より 1,093人増) 配信件数： 20件
令和3年度	登録者数：5,945人 (前年度より 680人増) 配信件数： 11件

(2) 他社媒体

① 都立大学駅前ポスター掲出

東急東横線 都立大学駅の改札を出て直ぐの柱に1箇所ポスター掲出できるよう通年契約している。主催・共催事業に関わらず、各事業のB2版のポスターを掲出し、駅利用者に対してホールの事業を周知した。

② 有料広告の実施

●駅貼りポスターの実施

東急東横線 「中目黒駅」構内



東急電鉄等の主要駅構内に B1 版のポスターを掲出した。

【フレッシュ名曲コンサート】

期間：令和6年2月26日～3月3日（1週間）
掲示駅：中目黒駅、二子玉川駅、池袋駅

●音楽雑誌広告

『ぶらあぼ』4月号

(2024年3月18日発行)

掲載事業：ぱんだウインドオーケストラ、未来の音シリーズ(主催)、デイダミアア(共催)



音楽愛好家に向けた広報として、クラシック音楽雑誌『ぶらあぼ』に広告を掲載した。

【ぶらあぼ】

掲載号：8月号、12月号、2月号、4月号
枠：1C/1P

広告については支出削減も兼ねて、職員が広告のデザインを作成している。

掲載内容は主催事業だけでなく、共催事業も取り上げ、広告料は掲載スペースの割合に応じて共催事業の主催者と折半している。

また、出稿サービスとして一部事業の公演紹介記事を掲載いただいている。

●新聞広告

【朝日新聞】

令和5年6月22日夕刊・半5段



※「小松亮太」公演は出稿後1週間で約120枚のチケットが売れる結果となった。

芸術文化に関心のある層に向けて事業を広範囲に周知することを目的に新聞広告を実施している。

出稿時期や回数はチケットの売上状況などを踏まえて調整している。

【朝日新聞】

① 令和5年6月22日 夕刊・半5段
掲載事業：小松亮太／75分映画音楽(共催)
※ 広告料は共催事業の主催者と折半

② 令和5年11月16日 夕刊・半5段
掲載事業：フレッシュ名曲コンサート／室内楽

【日本経済新聞】

令和6年2月15日 夕刊・半5段
掲載事業：フレッシュ名曲コンサート
ぱんだウインドオーケストラ

第2 受託事業

1 芸術文化事業（定款第4条第1項第2号）

（1）受託事業（2事業＝16公演）

No.	内容	
1 ① ⑬	公演名	第58回 目黒区文化祭
	公演日	令和5年4月1日（土）～ 11月26日（日）
	会場	大ホール、小ホール、美術館区民ギャラリー
	料金等	入場無料
	事業内容	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、第58回目黒区文化祭を実施した。



【内訳】

No.	公演日	公演名	施設名	来場者 (延べ人数)
①	令和5年 4月1日（土）、2日（日）	華道茶道展	美術館 区民ギャラリー	180人
②	4月9日（日）	目黒五流合同謡曲大会	小ホール	70人
③	4月19日（水）～23日（日）	自主グループ協会展	美術館 区民ギャラリー	495人
④	5月21日（日）	民踊まつり	小ホール	50人
⑤	5月30日（火）	邦楽演奏会	大ホール	185人
⑥	10月7日（土）	音楽祭	大ホール	700人
⑦	10月15日（日）	民謡大会	区民センター ホール	130人
⑧	10月22日（日）	洋舞祭	大ホール	790人
⑨	10月29日（日）	日本舞踊大会	大ホール	500人
⑩	11月3日（金・祝）	演劇祭	小ホール	190人
⑪	11月4日（土）	合唱祭	大ホール	500人
⑫	11月5日（日）	吟剣詩舞道大会	小ホール	90人
⑬	11月22日（水）～26日（日）	ユネスコ美術展	区民ギャラリー	254人

[合計 4,134人]

No.	内容		
2 ①	公演名	めぐろオータムアート 2023 めぐろパーシモンホール×目黒区美術館 第11回音楽と美術のワークショップ 生活の中の『ノイズ』を見つけて展覧会を作る	
	公演日	令和5年10月29日(日) 令和5年11月4日(土)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	料金等	[参加費] 3,000円(材料費・保険料込み)	
	入場者	参加者11人(申込19人)【定員20名】	
事業内容	<p>目黒区美術館との共同ワークショップ。 今回は、街の中や生活を通して感じる騒音や、社会的に排除されつつある物や場所を『ノイズ』として捉え、日常に潜む様々な『ノイズ』を見つけて採取し、それを作品に変換して展覧会を作るワークショップを開催した。 テーマである『ノイズ』について考え、採取し、それを作品へと変換してから、展覧会という空間を創るという、複数の行程を踏むワークショップとなったが、考え採取する時間に比重を置いたことで、一人ひとりが深くテーマについて考えることができた。完成した展覧会『みんなのノイズ』には、参加者が様々な角度から『ノイズ』を捉え、表現した作品が展示された。</p> <p>【講師】 青山悟(アーティスト)、秋岡陽(音楽史/フェリス女学院 学院長)</p>		
2 ② ③	公演名	めぐろオータムアート 2023 旧前田家本邸洋館サロンコンサート～ チェンバロ	
	公演日	令和5年11月25日(土) ① 12時15分開演 ② 14時30分開演	
	会場	旧前田家本邸洋館	
	料金等	[全席自由] 1,000円	
	入場者	① 48人【定員50名】／完売(96%) ② 46人【定員50名】／完売(92%)	

	事業内容	<p>旧前田家本邸洋館でチェンバロのトーク付きコンサートを開催した。 昨年30名の2回公演でチケットが即完売になったため、定員を50名に増やして開催した。</p> <p>【出演】 葉形亜樹子（チェンバロ）</p> <p>【曲目】 F. クープラン：幸せな想い、ミミ、勤勉 J. S. バッハ：前奏曲とフーガ第1番 ハ長調、第2番 ハ短調 J. デュフリ：アルマンド、ロンド ほか J. パッヘルベル：チャコーナ ヘ短調</p>
--	------	---

(2) 指定管理事業（1事業＝1公演）

No.	内容											
1	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 705 379 835">公演名</td> <td data-bbox="379 705 911 835">小松亮太タンゴ・アンサンブル ～アルゼンチン・タンゴとヨーロッパ ン・タンゴの饗宴</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 835 379 927">公演日</td> <td data-bbox="379 835 911 927">令和5年10月8日（土）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 927 379 1005">会場</td> <td data-bbox="379 927 911 1005">大ホール</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1005 379 1189">料金等</td> <td data-bbox="379 1005 911 1189">[全席指定] S席4,800円 A席4,300円 学生1,000円 ※ 目黒区民はS席・A席とも500円引き</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1189 379 1332">入場者</td> <td data-bbox="379 1189 911 1332">1,106人【定員1,154名】／完売 ※ PA席や見切れ席あり (95.8%)</td> </tr> </table>	公演名	小松亮太タンゴ・アンサンブル ～アルゼンチン・タンゴとヨーロッパ ン・タンゴの饗宴	公演日	令和5年10月8日（土）	会場	大ホール	料金等	[全席指定] S席4,800円 A席4,300円 学生1,000円 ※ 目黒区民はS席・A席とも500円引き	入場者	1,106人【定員1,154名】／完売 ※ PA席や見切れ席あり (95.8%)	
公演名	小松亮太タンゴ・アンサンブル ～アルゼンチン・タンゴとヨーロッパ ン・タンゴの饗宴											
公演日	令和5年10月8日（土）											
会場	大ホール											
料金等	[全席指定] S席4,800円 A席4,300円 学生1,000円 ※ 目黒区民はS席・A席とも500円引き											
入場者	1,106人【定員1,154名】／完売 ※ PA席や見切れ席あり (95.8%)											
	<p>世界的バンドネオン奏者として日本のタンゴ界に常に刺激をもたらしている小松亮太が、厚い信頼を寄せるメンバーと共に、昭和の時代から愛され続けるタンゴの名曲プログラムを大編成のアンサンブルで披露した。</p> <p>第1部ではタンゴで世界旅行と題し、世界各地で愛されたタンゴの名曲たちを、小松亮太の軽快なトークを交えてお届けした。第2部では、タンゴのリズム解説や、アニメソングのタンゴアレンジなど、スタンダード・ナンバーを抑えながらも、タンゴの新しい一面を垣間見えるプログラムで会場を盛り上げた。</p> <p>チケットは発売当初から販売状況が好調だったが、特に令和5年6月22日朝日新聞夕刊に広告を出稿してからは、さらに売り上げが伸び、9月19日に完売となった。</p> <p>出演者の人気はさることながら、ホールの客層とタンゴを愛好する層とが合致したこと、さらには展開した広報がターゲットの層に届いたことで早期の完売という結果に繋げることができた。</p> <p>【出演】 小松亮太・北村聡（バンドネオン）、近藤久美子・専光秀紀（ヴァイオリン）、吉田有紀子（ヴィオラ）、松本卓以（チェロ）、桜井芳樹（ギター）、熊田洋（ピアノ）、田中伸司（コントラバス）、小林照未・竹本一匹（パーカッション）</p>											

		<p>【曲目】</p> <p>《第1部》 ラスト・タンゴ・イン・パリ／夜のプラットフォーム／小さな喫茶店／碧空／ジェラシー／ブルータンゴ／エル・チョコロ／想いのとどく日／バンドネオンの嘆き／ラ・クンパルシータ</p> <p>《第2部》 首の差で／目覚め～ネスカフェゴールドブレンドのテーマ／薔薇は美しく散る ～アニメ「ベルサイユのばら」テーマ曲／メリディオナル／淡き光に／オブリヴィオン／アディオス・ノニーノ／リベルタンゴ</p> <p>《アンコール》 小松亮太：風の詩</p>
--	--	---

2 施設貸与・管理事業

(1) 施設の保守管理等

職員による日常点検、始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設及び設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、目黒区に報告し、情報の共有を図った。

平成14年9月20日にめぐろパーシモンホールが開館してから21年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は①大ホールの舞台機構部品交換、②小ホール舞台照明調光盤更新、③小ホール舞台機構部品交換、④大ホール客席手すり設置工事、⑤大ホール及び小ホールの洋式トイレ新設工事等を行った。

その他の不具合については、予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。

- ① めぐろパーシモンホール
 - ア 舞台機構保守点検
 - イ 舞台照明保守点検
 - ウ 開閉天井照明保守点検
 - エ 舞台音響保守点検
 - オ 客席椅子保守点検
 - カ エレベーター・リフト保守点検
 - キ スタインウェイピアノ保守点検
 - ク ヤマハピアノ保守点検
- ② 中目黒GTプラザホール
 - ア 音響保守点検
 - イ 照明保守点検
 - ウ ヤマハピアノ保守点検

(2) 危機管理体制

- ① 新型コロナウイルスの位置付けが令和5年5月8日から5類感染症に移行したため新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインは廃止したが、基本的な新型コロナウイルス感染症対策のご案内を利用者に周知した。
- ② 防火・防災対策
 - ア 令和5年4月23日(日)第12回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサートを大ホールで実施し、職員の安全管理意識や避難体制の対応等を高めることができた。
 - イ 区民キャンパス全体の自衛消防訓練に参加し、職員の防災意識を高めた。

(3) 利用者サービス

- ① 貸館チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は27件の依頼があった(前年度は29件)。
- ② 大ホール・小ホールとも希望者には通常より1時間早い貸出を行った(合計45件、大ホールは28件、小ホールは17件/前年度は52件)
- ③ 大ホール・小ホールの通常の予約受付は利用日の14日前までとしているが、14日以内であっても実施可能な内容に限り、利用ができるように対応した(合計4件、大ホールは1件、小ホールは3件/前年度は6件)
- ④ チケットをインターネットから予約した際、チケットレス対応としてQRコードの提示で入場できるようにした。
- ⑤ 貸館利用者からの提出物をメールでも受理できるようにした。
- ⑥ 新型コロナウイルスの位置付けが令和5年5月8日から5類感染症に移行したため、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインは廃止した。これに伴い備品リスト等の改訂も行った。

- ⑦ 貸館利用者のアンケートの提出を、ホールホームページから回答できるようにした。
- ⑧ めぐろ区民キャンパス全体で防犯カメラを交換し、小ホール舞台袖のモニターから小ホールのホワイエの様子を見ることが出来るよう改善した。
- ⑨ 2か月間の工事休館中に、大ホール平台側面の修繕作業を行い、利用者が安全に持ち運びできるようにした。
- ⑩ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化し、毎月開催した。
- ⑪ 利用者アンケートを実施する等、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。特に、施設利用料金やチケット料金の返金対応については丁寧な対応を行った。
- ⑫ 顧客満足度による評価

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
総件数	248件	243件	260件
評価	4.14	4.20	4.20

※ 施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等について、「良い(5点)」、「やや良い(4点)」、「普通(3点)」、「やや悪い(2点)」、「悪い(1点)」の5段階評価(5点満点)をしていただき、回答を集計している。

※ 貸館利用者のアンケートの提出を、ホールホームページから回答できるように対応した。

(4) 消防設備点検時における事故の発生

① 経過

令和5年9月6日午前1時28分頃、消防設備点検作業中に大ホール舞台上のスプリンクラーが作動し、放水したことにより舞台床及び周辺の機器等が水を被った。

令和5年11月6日から令和6年1月6日までのめぐろパーシモンホール臨時休館中(工事)に、スプリンクラー設備復旧工事を実施し、消防署による検査でスプリンクラーには異常が無いことを確認し、現在は復旧している。

② 被害状況等

舞台機構に係る操作卓の故障、東西幕ほか諸幕の水濡れ、舞台床の反り及び壁面の水滲み、舞台照明フロア回路の水没、照明操作卓の故障、備品の被害等を確認した。

③ 今後の対応等

関係各所と連携を図りながら、利用者に影響が生じないよう対応する。

第3 その他事業（定款第4条第1項第4号及び第4条第2項）

1 めぐるパーシモン芸術文化ネットワークの取組

めぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、当財団と共催して事業を行っている5団体（目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会）が、目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的として、平成23年10月に発足した。

例年、各団体の公演に際し相互に協力し、大ホールのホワイエにてネットワーク参加団体の紹介掲示を行うなど、集客促進にも寄与している。令和5年度は3回の会議を行い、当財団も含めた各団体の公演における未就学児来場者の対応、SNSの活用、開場前の列整理等について活発に意見交換し、それぞれの運営の参考にするなど、当ネットワークならではの取組を行うことができた。

2 ホールの協賛等の運営

（1）賛助会

ホールの賛助会については、令和5年度は法人会員17社（20口）、個人会員22人（42口）で賛助会費526,000円の収入となり、4年度（法人会員19社24口、個人会員23人44口、賛助会費612,000円）より86,000円の減収となった。

（2）協賛

企業も芸術文化の担い手であり、参加の機会を提供することで、企業との協力関係を構築することができた。

ア 公益財団法人北野生涯教育振興会

区内中学校吹奏楽部への事前指導事業、子どものためのワークショップ事業及びアウトリーチプログラム事業に対して協賛として協賛金（3,400,000円）の支援をいただいた。

イ 昭和製菓（株） 自由が丘 蜂の家

新春落語三人会～三遊亭小遊三・春風亭小朝・春風亭昇太 に際して協賛としてお菓子の支援をいただいた。

（3）助成金

事業名（略称）	助成団体	助成金額
フレッシュ名曲コンサート	公益財団法人東京都歴史文化財団	2,964,878円

（4）情報紙「アートレター」における広告料収入

令和5年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けることなく、各企業からの広告料は777,000円（前年度比70,000円減）であった。

3 地域と連携した事業

（1）顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成21年度当初、15店舗の協力で開始した。

この制度は「パーシモンチケ得マップ」に記載されているお店に財団主催又は共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られるものである。

令和5年度は飲食店を中心に26店舗の協力を得られた。加盟店の店頭にオリジナルの加盟店シールを貼っていただくことでホール及び当事業の周知を図り、店舗内に公演チラシ等を配架していただくことで広報にも協力いただいている。

(2) 広報ボランティア

令和5年度は4年度からの継続希望者に加え、新たに応募いただいた方を加えて26人(4年度は19人)の参加があった。

今年度より情報紙の目黒区内小中学校、幼稚園、こども園への全校配布(年4回)を行うこととしたため、発送作業が活動の中心となった。併せて情報紙の配架場所の開拓、SNS投稿の拡散、ホール事業のロコミ宣伝、ホール公式ブログへの公演レポート執筆など、年間を通して個々の活動も行っていただいた。

(3) 商店街との連携

都立大学商店街連合会より、同会を構成する店舗等の店主やオーナーを紹介する冊子「とりつじん」に掲載されているイラストパネル展開催の打診を受け、めぐろ区民キャンパス地下1階プラザでの開催に協力した。また、過去7回の「とりつじん」の冊子を区民キャンパス内の情報コーナーに配架し、同会の広報に協力した。

4 職場訪問等の受け入れ

(1) 学校の受け入れ

例年、区立中学校等の職場体験に協力している。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業、主催事業の広報活動としてチラシの送付作業などを体験してもらった。見学を希望する学校については、めぐろ区民キャンパス全体の施設見学を行った。

No	期間	団体名
1	令和5年 6月20日(火)～22日(木)	区立第一中学校(3人)
2	6月21日(水)～23日(金)	区立東山中学校(3人)
3	10月26日(木)～27日(金)	都立桜修館中等教育学校(3人)
4	11月27日(月)～29日(水)	区立第十中学校(3人)
5	令和6年 1月24日(水)～26日(金)	区立第八中学校(2人)
6	2月 6日(火)	私立トキワ松学園(7人)

(2) 視察

他団体の視察に積極的に協力した。

No	期間	団体名
1	令和5年5月25日(木)	松江市教育委員会(松江市総合文化センター プラバホール)

(3) インターンの受け入れ

No	期間	団体名
1	令和5年6月3日(土)～8月6日(日) 【21日間】	桜美林大学(1人)
2	令和5年12月15日(金)～26日(火) 【7日間】	桜美林大学(1人)

5 収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置（13台）での収入確保に努め、公益事業に活用している。

区分	令和5年度	令和4年度	増減
販売手数料収益	416,818円	108,583円	+308,235円
自動販売機設置収益	4,597,122円	4,317,666円	+279,456円

補足資料

1 利用実績

施設名	年度	全体			時間帯別利用率			曜日別利用率	
		予約可能件数(件)	利用件数(件)	利用率	午前	午後	夜間	平日	土・日祝日
大ホール	5	727	638	87.8%	93.9%	94.3%	75.8%	83.2%	94.3%
	4	849	693	81.6%	90.0%	88.6%	67.4%	74.4%	92.2%
小ホール	5	775	659	85.0%	85.8%	94.0%	75.4%	81.3%	91.0%
	4	906	772	85.2%	87.5%	92.9%	75.5%	81.8%	90.8%
リハーサル室 など諸室	5	1,039	731	70.4%	73.3%	75.2%	62.7%	66.7%	77.7%
	4	1,000	701	70.1%	71.5%	78.9%	59.7%	65.6%	78.5%
中目黒G T プラザホール	5	1,010	901	89.2%	83.6%	97.1%	86.9%	86.6%	94.3%
	4	992	777	78.3%	83.6%	86.9%	63.8%	78.1%	78.8%

※ 大・小ホールは、令和5年11月6日から6年1月6日まで計画工事のため休館した。

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒G T プラザホール		全施設合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンベンション	53	8.3%	102	15.5%	233	5.3%	209	23.2%	597	9.1%
クラシック	185	29.0%	289	43.9%	1,721	39.2%	356	39.5%	2,551	38.8%
ポピュラー	52	8.2%	41	6.2%	228	5.2%	29	3.2%	350	5.3%
演劇	2	0.3%	42	6.4%	108	2.5%	0	0.0%	152	2.3%
ミュージカル	12	1.9%	0	0.0%	3	0.1%	3	0.3%	18	0.3%
舞踊	245	38.4%	77	11.7%	1,126	25.7%	147	16.3%	1,595	24.2%
伝統芸能	16	2.5%	28	4.2%	71	1.6%	19	2.1%	134	2.0%
映像	9	1.4%	12	1.8%	44	1.0%	4	0.4%	69	1.0%
その他	64	10.0%	68	10.3%	851	19.4%	134	14.9%	1,117	17.0%
合計	638	100%	659	100%	4,385	100%	901	100%	6,583	100%
前年度合計	693	100%	772	100%	4,204	100%	777	100%	6,446	100%

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
一般利用区内	43	6.8%	124	18.8%	1,159	26.4%	167	18.6%	1,493	22.7%
一般利用区外	226	35.4%	235	35.7%	1,373	31.3%	375	41.6%	2,209	33.6%
芸文登録団体	50	7.8%	87	13.2%	521	11.9%	141	15.7%	799	12.1%
公的団体	27	4.2%	12	1.8%	76	1.7%	2	0.2%	117	1.7%
財団	213	33.4%	124	18.8%	887	20.2%	12	1.3%	1,236	18.8%
目黒区	79	12.4%	77	11.7%	369	8.5%	204	22.6%	729	11.1%
合計	638	100%	659	100%	4,385	100%	901	100%	6,583	100%
前年度合計	693	100%	772	100%	4,204	100%	777	100%	6,446	100%

※ 全利用可能件数に対する利用率

【大ホール】財団 29.3%、目黒区 10.9% 【小ホール】財団 16.0%、目黒区 9.9%

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハ ーサ ル室 等諸 室 利用者	中目黒GT プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計		入場者	関係者	計	
4	10,331	2,263	12,594	3,551	1,325	4,876	1,180	3,801	1,252	5,053	23,703
5	11,719	2,182	13,901	3,226	1,053	4,279	1,463	2,226	1,434	3,660	23,303
6	15,178	4,252	19,430	2,629	928	3,557	1,358	1,689	1,224	2,913	27,258
7	17,358	3,290	20,648	4,683	1,002	5,685	1,161	2,211	1,480	3,691	31,185
8	12,534	3,724	16,258	3,341	1,039	4,380	899	1,910	1,094	3,004	24,541
9	10,022	2,543	12,565	2,890	1,006	3,896	1,617	2,238	853	3,091	21,169
10	13,434	4,267	17,701	3,011	1,409	4,420	1,565	2,435	1,101	3,536	27,222
11	1,400	897	2,297	490	273	763	1,973	2,502	1,268	3,770	8,803
12	0	0	0	0	0	0	2,102	2,148	1,518	3,666	5,768
1	9,547	2,962	12,509	1,968	523	2,491	1,551	1,642	1,097	2,739	19,290
2	13,937	3,783	17,720	3,124	863	3,987	761	2,179	754	2,933	25,401
3	14,089	2,998	17,087	4,210	1,473	5,683	1,205	2,841	1,042	3,883	27,858
合計	129,549	33,161	162,710	33,123	10,894	44,017	16,835	27,822	14,117	41,939	265,501
前年度 合計	138,897	36,210	175,107	35,811	12,754	48,565	14,945	16,247	13,412	29,659	268,276

5 利用料金収入実績

(単位：円)

施設名	年度	施設	特殊器具	合計
めぐろパーシモン ホール	5	105,207,430	20,142,700	125,350,130
	4	114,945,040	23,693,030	138,638,070
中目黒G Tプラザ ホール	5	13,191,350	1,059,350	14,250,700
	4	13,173,800	914,150	14,087,950
合計	5	118,398,780	21,202,050	139,600,830
	4	128,118,840	24,607,180	152,726,020

※ 利用料金収入実績は、収入日の年度により集計している。

6 利用料金還付実績

(単位：円)

区分	施設	特殊器具	合計	前年度合計
5年度納付分	5,180,000	0	5,180,000	【4年度】 12,902,760
4年度納付分	3,906,920	0	3,906,920	【3年度】 6,177,775
合計	9,086,920	0	9,086,920	19,080,535

7 施設利用料収益

年度	施設	特殊器具	合計
5年度	101,232,530円	21,202,050円	122,434,580円
4年度	119,040,670円	25,092,880円	144,133,550円

※ 施設利用料収益は、当該年度利用分により集計している。大・小ホールは令和5年11月6日から6年1月6日まで計画工事のため休館した。

8 施設見学会開催実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
開催回数	大ホール	2	2	2	0	2	2
	小ホール	2	2	2	2	2	2
参加人数	7	4	2	4	17	6	1

月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
開催回数	大ホール	0	0	2	1	16	(22)
	小ホール	0	0	2	2	19	(22)
参加人数	0	0	5	8	4	58	(160)

9 個別見学対応実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	15	12	25	11	12	18	10

開催月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
見学回数	9	6	18	13	9	158	(167)

Ⅲ 令和5年度目黒区美術館事業報告

第1 自主事業（定款第4条第1項第1号）

1 展覧会事業（自主企画展）

①	展覧会名	ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる	 <p>展示風景(展示室A)</p>
	会 期	令和5年4月29日(土・祝)～6月18日(日) (44日間)	
	観 覧 料	<p>一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金</p> <p>・障がいのある方とその付添者1名は無料</p> <p>・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)</p>	
	入 館 者	6,879 人	
	展示概要	<p>戦前、芸術家の主な留学先はフランスであったのに対し、ベルギーを選んだ画家の太田喜二郎と児島虎次郎、彫刻家の武石弘三郎。当館は滞欧米期の画家の作品を収集方針として太田の作品を収蔵。巡回先の高梁市成羽美術館は地元出身の画家である児島を顕彰し、新潟県立近代美術館は郷土作家として武石を収蔵作家としている。</p> <p>戦前の日本におけるベルギー美術の受容を紹介する本展は、この3館が連携し、この分野における各館の作品収集、調査・研究の成果を展覧会として構成し開催した。普段知る機会の少ないベルギー美術と日本の関係について、解説を読みながら、じっくり観賞する来館者の姿が印象的であった。</p>	 <p>展示風景(展示室B)</p>
	関連催事	<p>1 リレートーク「つながる！太田君と児島君と武石君」 ナビゲーター：高梁市成羽美術館 学芸員 吉尾梨加 新潟県立近代美術館 学芸員 伊澤朋美 当館 学芸員 山田真規子 開催方法、定員：当日先着順、35名 開催日：4月29日(土・祝) 14:00～15:30 参加者：32人 場所：目黒区美術館ワークショップ室 内容：ベルギー留学した太田喜二郎、児島虎次郎、武石弘三郎の留学のきっかけや現地で学んだこと、相互の交流などについて、本展の巡回館の学芸員3人がリレー方式でトークを展開した。</p> <p>最後に、インターネット上の地図で児島と太田のセントでの下宿先の写真と、さらに世界地図で日本とベルギーの距離を確認し、芸術家達が海外留学にかけた思いを追体験した。</p>	 <p>リレートーク実施風景</p>
		<p>2 大人の遠足「武石弘三郎のブロンズ彫刻を観るツアーとレクチャー」 ナビゲーター：佐倉市立美術館 学芸員 本橋浩介 当館 学芸員 山田真規子 開催方法、定員：事前申込制、募集定員25名 開催日：5月4日(木・祝) 13:00～16:00 場所：目黒区美術館ワークショップ室、大倉集古館 参加者：16人(申込16人) 内容：本展の出品作家である武石弘三郎が制作した屋外設置のブロンズ像を観賞するツアーを実施した。</p> <p>まず、美術館に集まり、ナビゲーターのレクチャーを聞いてから、作品の設置してある大倉集古館に移動。同美術館の四宮美帆子学芸員からの解説を聴き、武石の作品をじっくり楽しんだ。</p>	 <p>大人の遠足、レクチャーの様子</p>  <p>大人の遠足、大倉集古館へ移動し、彫刻作品を鑑賞</p>

		<p>3 ミュージアムコンサート ベルギー生まれの楽器、サクソフォンを聴く 出演者: Avant-Première (アヴァンプレミエ) 鈴木広志、東涼太、上運天淳市 開催方法、定員: チケット制、35名 開催日: 6月3日(土) ①14:00～15:00、②16:00～17:00 場所: 目黒区美術館ワークショップ室 参加者: ①31人、②38人 内容: パーシモンホールとの共同イベント。「ベルギーと日本」展関連イベントとして、ベルギーで誕生した楽器、サクソフォンの多様な音色を楽しむコンサートを企画した。本公演では一般的に使用されるソプラノ、アルト、テナー、バリトンに加えて、100年ほど前に作られた「Cメロディーサクソフォン」の演奏もあった。 本展の展示作品と同時代に作曲された音楽や、展覧会のために書き下ろした新曲などを、特別に展覧会出品作品を展示した空間で披露いただいた。</p>	 <p>ミュージアムコンサート 実施風景</p>
		<p>4 講演会「コンスタンタン・ムーニエと日本」 講師: 小杉放菴記念日光美術館 学芸員 迫内裕司 開催方法、定員: 当日先着順、35名 開催日: 6月10日(土) 14:00～15:30 場所: 目黒区美術館ワークショップ室 参加者: 25人 内容: 戦前、ベルギーの彫刻家コンスタンタン・ムーニエは日本で高い人気を誇り、多くの日本の彫刻家とその影響を受けた。ムーニエの作品が紹介され、ブームとなった当時の状況について、日本におけるムーニエ受容の研究者を講師にお招きし、ご講演いただいた。</p>	 <p>講演会 実施風景</p>
		<p>5 大人のための美術カフェ ナビゲーター: 当館 学芸員 山田真規子 開催方法、定員: 当日先着順、35名程度 開催日: 6月18日(日) 14:00～15:30 場所: 目黒区美術館ワークショップ室 参加者: 30人 内容: 担当学芸員が、今回なぜ当館と、高梁市成羽美術館や新潟県立近代美術館とともに本展を開催することになったのか、という展覧会開催の経緯とともに、展示の見どころを解説した。</p>	 <p>大人のための美術カフェ 実施風景</p>
<p>広報実績</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・NHK E-テレ「日曜美術館 アートシーン」 令和5年5月28日、6月4日(再放送) ・読売新聞朝刊「都内イベント情報欄」(カラー画像2枚) 令和5年6月9日 ・埼玉新聞「首都圏アートナビ」紹介記事 令和5年6月13日 	
<p>②</p>	<p>展覧会名 中村直人 モニュメンタル／オリエンタル</p> <p>会 期 令和5年7月15日(土)～9月3日(日)(44日間)</p> <p>観 覧 料 一般 800(600)円、大高生・65歳以上 600(500)円、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)</p> <p>入 館 者 3,035人</p> <p>展示概要 中村直人は、長野県小県郡神川村(現・上田市)に生まれた芸術家である。戦前は彫刻家として院展で活躍。戦後はパリに移住し、グアッシュ(不透明水彩絵具)作品により好評を博する</p>	 <p>展示風景(エントランスホール)</p>	

		<p>ようになる。帰国後は彫刻、絵画、版画など数多くの作品を手掛け、哀愁漂う女性像や裸婦像によってそのイメージを定着させた。晩年は東京・目黒区にアトリエを構えて、二科展の内閣総理大臣賞を受賞する榮譽を得た。</p> <p>本展は、中村直人の故郷に所在する上田市立美術館と、晩年を過ごした東京・目黒区に所在する当館との共同企画によるものである。直人の生涯を、彫刻家としての黎明期、従軍した戦時期、フランス時代、帰国後の四つの時期に分けて構成し、作品・資料をはじめ、直人に影響を与えた諸作家の作品も併せて展示した。</p> <p>来館者は、直人の生涯や、作品にまつわるエピソードなどの解説にも目を通しながら、時代もジャンルも幅広い作品群をじっくりと鑑賞していた。来館者のアンケートでは、内容に対する満足度が高いことが印象的であった。これまであまり注目されてこなかったこの作家を、生地と没地にある美術館が取り上げ、丁寧に紹介したことが評価された結果であろう。</p>	 <p>展示風景(展示室 B)</p>  <p>展示風景(展示室 A)</p>
関連催事	<p>ギャラリートーク ナビゲーター:上田市立美術館 学芸員 山極佳子 開催方法、定員:当日先着順、20 名程度 開催日: 7 月 29 日(土) 14:00~15:00 参加者:32 人 内容:地域ゆかりの作家として中村直人を顕彰している上田市立美術館の学芸員に、会場で作品を鑑賞しながらお話しいただいた。参加者は、詳しい解説に聴き入っている様子だった。</p>		 <p>ギャラリートーク実施風景</p>
広報実績		<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌「月刊美術」紹介記事 令和 5 年 7 月 20 日号 ・ケーブルテレビ「地モトNEWS」展覧会紹介 令和 5 年 7 月 20 日、8 月 12 日 ・朝日新聞夕刊「美術館・博物館の一覧表」展覧会紹介 令和 5 年 7 月 11 日 	
③	<p>展覧会名 広がるコラージュ／同時開催 IIDA 101 飯田善國</p> <p>会 期 令和 6 年 2 月 17 日(土)～3 月 24 日(日)(32 日間)</p> <p>観 覧 料 一般 700(550)円、大高生・65 歳以上 550(400)円、中学生以下無料、()内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者 1 名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)</p> <p>入 館 者 3,754 人</p> <p>展示概要</p> <p>コラージュは「糊で貼り付ける」という意味のフランス語(coller)から派生した言葉で、身近にある様々な素材を切り取り、組み合わせる手法である。「広がるコラージュ」展では、所蔵作品からコラージュによる作品や、その発想が読み取れる作品を選定し、多様な展開を紹介した。</p> <p>また、目黒にゆかりの芸術家・飯田善國(1923-2006)の特集展示を同時開催した。2023 年に生誕 100 周年を迎え、本年は飯田作品を所蔵する美術館が連携する「101 年目からの飯田善國プロジェクト」の一環として、当館所蔵の作品・資料を中心に、画家・彫刻家・版画家、そして詩人・評論家として、多彩な足跡を残した同氏の仕事を振り返った。コラージュによる作品のほか、各ジャンルを自在に横断し、組み合わせたような制作スタイルに、このテーマとの関連を見出した。</p> <p>教育普及事業と連動し、関連催事としてワークショップ等を数多く展開し、作品鑑賞だけでなく、体験を通してその手法を掘り下げていただける場を積極的に設けた。</p>		 <p>展示風景(エントランスホール)</p>  <p>展示風景(展示室 A) 「広がるコラージュ」展会場</p>  <p>展示風景(展示室 B) 「IIDA 101 飯田善國」展会場</p>

	<p>来館者からは、当館のコレクションを新たな視点から鑑賞できたという声や、作品の多様さに驚いたという声、飯田善國という芸術家を初めて知ったという声も聞かれた。広報物のビジュアルをきっかけに、初めて来館した方も予想以上におり、当館がこれまで収集してきた日本の近現代美術の作品を、多くの方にご覧いただくことができた。</p>	
関連催事	<p>1 講演会「飯田善國の野外モニュメントをめぐって」 講師: 大久勉、山田敦雄(聞き手、当館元学芸員) 開催方法、定員: 当日先着順、50名程度 開催日: 3月9日(土) 14:00~16:00 場所: 目黒区美術館ワークショップ室 参加者: 29人 内容: エンジニアとして飯田の野外モニュメントの制作に携わってきた講師より、その仕事内容などについてお話しいただいた。 飯田の人柄が伝わるエピソードを交えながら、自然の力で動き続ける飯田の彫刻作品の構造を、図や写真と共に解説いただいた。 普段知る機会の少ない現代美術作品の技術的な側面に焦点をあてた内容となった。</p>	 <p>講演会1 実施風景</p>  <p>講演会2 実施風景</p>  <p>大人のための美術カフェ 実施風景</p>
	<p>2 講演会「飯田善國の詩と音楽の世界」 講師: 田中聰(作曲家)、山田敦雄(聞き手、当館元学芸員) 開催方法、定員: 当日先着順、50名程度 開催日: 3月10日(日) 14:00~16:00 場所: 目黒区美術館ワークショップ室 参加者: 32人 内容: 飯田による詩に合わせて楽曲を提供した作曲家の田中聰氏より、当時の映像や音源などを鑑賞しながら生前の飯田との交流やエピソードなどをお話しいただいた。 楽譜と演奏(映像)を比較しながら、詩の言葉を音楽のかたちへと変換する過程について詳しく解説いただいた。 展示だけでは伝えきれない飯田の詩と音楽の関係を紹介する内容となった。</p>	
	<p>3 大人のための美術カフェ ナビゲーター: 当館 学芸員 誉田あゆみ 開催方法、定員: 当日先着順、50名程度 開催日: 3月24日(日) 14:00~15:00 場所: 目黒区美術館ワークショップ室 参加者: 25人 内容: 担当学芸員が、展覧会開催の経緯と共に、準備を進める中で新たに分かったことや、学芸員の目線で特にご紹介したい作家や作品、会期中に開催したイベントの様子などについて、スライドトーク形式で解説した。 展示の企画者のメッセージを伝える貴重な機会となった。</p>	
広報実績	<ul style="list-style-type: none"> ・読売新聞 2/23(金)朝刊・地域面「都内版」イベント情報 ・J-WAVE「GOOD NEIGHBORS」2/27(火)13:15~(10分間) ・新美術新聞 3/1(金)総合・ニュース面 展覧会情報寄稿 	

2 教育普及事業

(1) ワークショップ夏【画材の実験室 夏休み編】

画材や素材への興味を引き出し、創造へとつなげていく内容や、知っているようで知らない、又は知る機会がない「美術」のあれこれを取り上げたセミナーやワークショップを開催した。

①	講座名	ワークショップ 【A】モニュメンタル・オリエンタル・ものがたる・あくしてんたる	 <p>チームごとにどんな世界をつくるか話し合った。</p>  <p>イメージしたものを、それぞれ工夫しながら形にしていっていった。</p>
	実施日時	令和5年8月19日(土)、20日(日) 各日 10:30~16:00 ※2日間コース	
	講師	メグロアソビ冒険隊	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	小学生以上、事前申込制、20名	
	参加者	14人(申込20人)	
	内容	<p>「中村直人」展に関連し、遊びの中から偶然生まれた色や形をヒントに創作するワークショップを実施。直人の彫刻作品から着想を得て、スポンジやウレタンなどの柔らかく弾力のある素材を用い、立体作品を作った。複数の企業の協力により、様々なサイズ、色、質感のスポンジ等を大量に提供頂き、充実した内容となった。</p> <p>初めに、全身を使って素材と遊び、感触を確かめた後、3グループに分かれて構想を練り、創作に取り掛かった。チームごとの講師とともに、それぞれ自由に発想を膨らませながら、和気あいあいと取り組んでいた。最後に、各チームの作品をつなげ、大きな一つの世界を創り上げた。鑑賞会では、参加者一人一人が出来上がった作品を解説しながら、全員で鑑賞した。</p> <p>保護者からは、子どもたちの作品の、全体のスケールの大きさとともに、こだわって作りこまれた細部に対しても、驚きと感動の声が聞かれた。</p>	
②	講座名	ワークショップ 【B】グアッシュの魅力	 <p>講師が用意した塗り方のサンプルなども参考にしながら、参加者それぞれ思い思いにグアッシュを試していた。</p>  <p>木製パネルに水彩画用紙を水張りしている様子。水彩画を描く時の基本となる技術も学んだ。</p>
	実施日時	令和5年8月26日(土) 10:30~17:00	
	講師	山本品(画家)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上、事前申込制、12名	
	参加者	15人(申込22人)	
	内容	<p>中村直人が使用したグアッシュ(不透明水彩)の特性や魅力を、レクチャーや実践を通して体感するワークショップを実施。様々な種類の和紙や洋紙を用意し、直人が多用した「もみ紙」をはじめ、色々な塗り方を試しながら、グアッシュならではの鮮やかな色彩や幅広いテクスチャーを体感した。</p> <p>参加者は、水彩画用紙を水張りした後、グアッシュで描いた紙をコラージュしたり、そこからイメージを膨らませてパネルに描いたりした。講師と参加者間だけでなく、参加者同士の間でも活発なコミュニケーションが見られ、和やかな雰囲気の中、それぞれ熱心に集中して取り組んでいる様子だった。最後は、直人の作品を全員で鑑賞した後、自分たちの作品も鑑賞した。本格的な創作と作品の鑑賞によりグアッシュの魅力を堪能する内容が、参加者からは大変好評であった。</p> <p>制作に用いた木製パネルは、マルオカ工業株式会社から提供頂き、産官の連携のプログラムとなった。</p>	

③	講座名	画材の実験室	 <p>絵具の使い方などについてレクチャーを受けた後、いろいろな塗り方を試している様子。</p>  <p>「もみ紙」づくりの様子</p>
	実施日時	① もみ紙編 令和5年8月1日(火)～5日(土) 13:00～16:00 ② 夏の復習編 令和5年8月15日(火)～18日(金) 13:00～16:00	
	講師	目黒区美術館学芸員他	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	延べ159人 8月1日:22人、2日:6人、3日:30人、4日:10人、5日:16人、15日:15人、16日:18人、17日:27人、18日:15人	
	内容	<p>当館のオリジナル教材「画材と素材の引き出し博物館」を見ながら、作品を支える画材や支持体がどのようにできているか、どんな使い方ができるか、実際に試してその特性や魅力を探るミニ講座を開催した。</p> <p>前半の5日間は、「中村直人」展に合わせて、直人の代表的な技法であるグアッシュと和紙を使った「もみ紙」を体験した。参加者からは、画材についてだけでなく、作家の作品への理解も深まったと好評だった。</p> <p>後半の5日間は、昨年度に取り上げたパステルや鉛筆、墨や木炭を用意し、体験できるコースとした。短時間で少し試す程度の方もいれば、時間をかけて全ての画材を使い、作品に仕上げる方も見られた。来館者が気軽に立ち寄り、自由度の高いプログラムとなった。以前に比べ人々が多忙となっている現在の社会状況において、このような実施方法を今後も研究していきたい。</p>	
④	講座名	オンラインで美術館 「うちんち！ぺちやくちやミュージアム」	  <p>バックヤードを覗いたり、いつもと違う角度からライトを照らすなど、開館前にしか体験できないギャラリートัวร์を行った。</p>
	実施日時	令和5年8月5日(土)、6日(日) 各日9:30～10:00	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	小学3年生以上、事前申込制、10名	
	参加者	8月5日:10人、8月6日:13人	
	内容	<p>子育てや介護などで出かけることが難しい方向けに発案されたオンラインのギャラリートัวร์を実施した。</p> <p>今回は、「中村直人」展を鑑賞した。開館前の展示室を中継するなど、参加者が家にいながらにして美術館を楽しめる内容とした。短時間のプログラムだが、アンケートでは開館前の裏側を見ることができて嬉しかったという感想が寄せられた。</p>	

(2) ワークショップ春【画材の実験室 春休み編】

画材や素材への興味を引き出し、同時期開催で扱う「コラージュ」の技法に着目したワークショップを開催した。

①	講座名	ワークショップ 【A】コラージュで自分を読み解く+コラージュの歴史	
	実施日時	令和6年2月25日(日) 10:30～17:00	

	講師	つつみひかる(アーティスト)、東海林洋(ポーラ美術館学芸員)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上、事前申込制、15名	
	参加者	11人(申込14人)	
	内容	<p>「広がるコラージュ」展に関連し、コラージュ技法を多用するアーティストを講師に迎え、実際に制作した。また、絵画史から見たコラージュについて、ポーラ美術館学芸員に解説をしていただき、レクチャーの時間も設けた。</p> <p>自分が人間以外の生きものならば何になるかを考えながら、ベースとなる段ボールに着彩をした後、参加者同士ペアになり、相手をイメージする色や形を考え、3種の素材を選び、交換することで、異素材を使用したコラージュを効果的に作品に仕上げる事ができた。参加者にとっては徹底的にコラージュと向き合う1日となった。作品は会期終了まで1階エントランスに展示をした。</p>	<p>他者からプレゼントしてもらった素材を入れ込みながらコラージュしていく。</p>  <p>完成した作品は会期中展示した。</p>
②	講座名	ワークショップ 【B】切って貼る春、色の地図	
	実施日時	令和6年3月17日(日) 10:30~16:00	
	講師	メグロアソビ冒険隊	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	新小学1年生以上、事前申込制、20名	
	参加者	28人(申込69人)	
	内容	<p>「広がるコラージュ」展、「IIDA 101 飯田善國」展の、色が印象的な作品や、コラージュされた作品をヒントに、多彩な色がある紙見本を使用し、グループに分かれて各自がイメージする色をワークショップ室一面の大きな紙に並べてカラフルな道を作った。その後、地図にあつたらよいものをチームで考え、海や花畑、お店など同じく紙見本をベースに平面や立体に仕上げで貼りこんでいった。最後は上部半分を天井から吊り下げ、大きな地図を保護者も一緒に鑑賞した。作品は会期終了まで展示を行った。</p> <p>制作に用いた紙見本帳は株式会社竹尾から提供いただき、官民連携のプログラムとなった。</p>	 <p>紙見本帳の美しい紙を使用し、それぞれがイメージする色を並べていく。</p>  <p>地図にほしいものを紙見本を使って作り、みんなで協力して大きな地図が完成させた。</p>
③	講座名	画材の実験室	
	実施日時	コラージュ編 令和6年2月27日(火)~3月8日(金)、3月12日(火)~15日(金)、3月19日(火)~23日(土) 各日 13:00~16:00	
	講師	目黒区美術館学芸員他	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	延べ467人 2月27日: 11人、28日: 21人、29日: 12人、3月1日: 22人、2日: 28人、3日: 41人、5日: 42人、6日: 18人、7日: 18人、8日: 17人、12日: 7人、13日: 16人、14日: 15人、15日: 16人、19日: 22人、20日: 57人、21日: 23人、22日: 29人、23日: 52人	
内容	画材や素材の特性を実際に触れながら体験するミニ講座	 <p>様々な素材を用意し、イメージを広げながらコラージュを楽しんでもらった。</p>  <p>壁面にはワークショップで生</p>	

		「画材の実験室」を開催した。今回は糊づけするという意味を持つコラージュの技法で自由に制作してもらった。紙や他館のポスター、紐、ボタンなど様々な素材を用意した。自由に素材を組み合わせながら貼り付け、子どもから大人まで幅広い年齢層の参加者が制作を楽しんだ。完成作品は持ち帰るか、1階エントランスに各自展示してもらい、最終日には壁いっぱいのコラージュ作品でにぎわった。他の来館者が制作した作品に触発された来館者が、プログラムに連鎖的に参加することで、作品をより深く体感できる機会を広く提供できた。	まれた沢山のコラージュ作品で埋め尽くされた。
④	講座名	オンラインで美術館 「うちんち！ぺちやくちやミュージアム・インスタライブ」	 <p>学芸員が作品を動かすなど、開館前ならではの場面もあった。</p>  <p>画材の実験室の中継の様子</p>
	実施日時	令和6年2月23日(金・祝) ①9:30～10:00、②13:00～13:30	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊、当館学芸員	
	会場	目黒区美術館展示室、ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも	
	参加者	①32人、②26人	
	内容	子育てや介護などで来館できない方々にも美術館を楽しんで頂く機会を提供する目的で始まったオンラインプログラムを実施した。Instagramのライブ配信、インスタライブを使用し、午前中は開館前の展示室からギャラリーツアーを、午後は画材の実験室の様子を配信した。照明を工夫して作品を鑑賞したり、普段は近寄れない作品のディテールに寄ってみるなど、オンラインならではの鑑賞の楽しみ方を提示した。画材の実験室の中継をしたことで、プログラム内容の周知ができ、実際にインスタライブを視聴して来館したという方もおられ、広報効果も見られた。	

(3) ギャラリーツアー

近年、学校単位の受入れが困難となってきたため、実施数が減少していた。そこで、昨年度から学童保育クラブや美術部などに働きかけ来館を促した。今年度も多くの児童・生徒・教員の来館があった。

No.	展覧会名等	学校・団体名	開催日	学年	参加者
①	「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」画材の実験室	下目黒小学校内学童保育クラブ	令和5年8月3日(木)	1～3年生	26人
②	「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」画材の実験室	下目黒小学校内学童保育クラブ	令和5年8月9日(水)	1～3年生	27人
③	「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」画材の実験室	三田学童保育クラブ	令和5年8月10日(木)	1～3年生	14人
④	「中村直人 モニュメンタル／オリエンタル」ミニワークショップ モニュメンタル・オリエンタル・ものがたる・あくしでんたる」	Dendo Children School	令和5年8月27日(日)	1～3年生	12人
⑤	「広がるコラージュ/飯田善國 IIDA 101」画材の実験室	下目黒小学校内学童保育クラブ	令和6年3月5日(火)	1～4年生	18人
⑥	「広がるコラージュ/飯田善國 IIDA 101」画材の実験室	目黒区立大島中学校美術部	令和6年3月5日(火)	1～3年生	17人
⑦	「広がるコラージュ/飯田善國 IIDA 101」画材の実験室	下目黒小学校内学童保育クラブ	令和6年3月19日(火)	1～3年生	6人

(4) トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム (TVT) 運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラム

①	講座名	アウトリーチ「どこまでも広がる！トイの凹凸タウン」	 <p>参加者全員で色ごとのチームに分かれ、トイを順番に並べていくゲームなど、トイを色々な方法で楽しんでもらった。</p>
	実施日時	令和5年4月8日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30	
	進行	メグロアソビ冒険隊、 目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	会場	景丘の家	
	対象・定員	未就学児とその保護者・各回6組	
	参加者	①子ども7人、保護者5人 ②子ども8人、保護者9人	
内容	トイコレクションボランティアチームが美術館外で行うアウトリーチプログラムを実施した。 今回は、交流施設「景丘の家」より依頼を受け、同施設のアートスクール活動の一環として、目黒区美術館トイコレクションボランティアチームとメグロアソビ冒険隊がプログラムを実施した。 当館所蔵のトイコレクションの一部を用い、デザインの優れた積木に触れ、積み、つなげ、同館2階のフロアに凹凸タウンを作った。立地は渋谷区だが、近隣のため、次回は美術館に遊びに行きたいという声が聞かれた。		
②	講座名	トイの日ウィーク	 <p>参加した子どもたちは、色とりどりのトイを使ってのびのびと遊んでいた。</p>  <p>家ではできないようなダイナミックな遊び方をしている子どもも多く見られた。</p>
	実施日時	令和5年8月8日(火)～13日(日) 各日13:00～16:00	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	延べ274人 8月8日:29人、9日:42人、10日:51人、11日:56人、 12日:52人、13日:44人	
内容	トイコレクションボランティアチームによるトイコレクションを活用したプログラムを実施した。 コロナ禍であった昨年度は、遊び場が制限される乳幼児の受け皿とするべく、感染症対策を講じながら開催し、好評を得た。行動制限が緩和された今年度は昨年度2日間程度であった実施期間を1週間まで拡大し、参加制限も撤廃した。近隣在住だが今回初めて参加した方もおり、こうした事業が今後の美術館来館のきっかけとなることを期待したい。 親子での参加が多かったが、保育関係者やデザインを学ぶ学生など、保護者以外の大人の参加もあった。 積木やパズルなど、様々なトイを、時間をかけて存分に楽しむ参加者の様子が印象的であった。		
③	講座名	アウトリーチ「つみきでつくろう たのしいゆうえんち」	
	実施日時	令和5年11月11日(土) 13:30～15:00	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	

	会場	目黒区民センター児童館 地下幼児遊戯室	 <p>思い思いの遊園地などが出来上がり、動物などのトイで遊ぶ親子もいた。</p>
	対象・定員	2～5歳の幼児と保護者、事前予約制・先着順	
	参加者	40人	
	内容	<p>トイコレクションボランティアチームによるトイコレクションを活用した館外でのアウトリーチプログラムを実施した。</p> <p>参加者がそれぞれの思い描く遊園地をトイで表現し作り上げた。さらに、家族ごとの遊園地を橋に見立てたトイで繋いでいき、大きな遊園地を作った。最後に、参加した子どもたちが自分の作った遊園地について全員の前で発表した。</p> <p>今後も、単にトイで遊ぶだけでなく、他の参加者と交流したり、他者の前で自分の言葉で話したりと、子どもたちが社会で生きる上で必要な力を獲得する一助となるプログラムを目指したい。</p>	
④	講座名	ファミリーワークショップ トイでつくろう！ワクワク王国	 <p>それぞれ親子での王国づくりを楽しんだ。</p>
	実施日時	令和6年2月18日(日) 13:30～15:00	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	 <p>鑑賞の時間は静かな夜の世界に見入っていた。</p>
	対象・定員	4歳以上2人1組の親子、事前予約制・6組12名	
	参加者	6組12名	
	内容	<p>トイコレクションボランティアチームによるトイコレクションを活用したファミリーワークショップを実施した。</p> <p>親子で協力して海の王国や動物の王国など、それぞれがイメージを膨らませた王国をトイで表現した。後半は王国をつなげる橋なども作り、全体で大きな王国が出来上がった。</p> <p>最後は照明を落とし、夜になる様子から朝になるまで、静かに鑑賞する時間も設けた。</p>	

(5) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

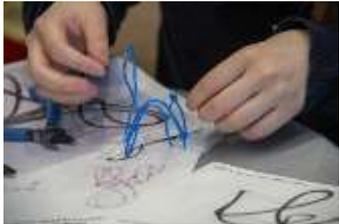
建築家村野藤吾の設計による、昭和41（1966）年竣工の旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム

① ④	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		 <p>ツアー風景</p>	
	進行	目黒区美術館建築ガイドスタッフ			
	開催日 (各日 14:00～ 15:30)	①	4月30日(日)		33人(申込433人)
		②	5月12日(金)		36人(申込230人)
		③	5月20日(土)		36人(申込357人)
④		5月28日(日)	38人(申込410人)		
対象・定員	中学生以上、事前申込制、各日20名(抽選)				

料 金 等	参加費:600 円 ※ 4月30日(日)の回は、目黒区のロケーション誘致事業でドラマ撮影が行われることとなり、見学ルート変更又は縮小の可能性を鑑みて、参加費を無料とする対応をとった。
参 加 者	延べ143人
内 容	令和3年度に耐震補強工事を終えた南口エントランスホールや照明器具が補修された螺旋階段を中心に、5つの小グループ(各20人程度)に分かれ、当館ボランティア建築班の案内でツアーを行った。 昨年度に引き続き、祝休日は施錠されている「渡り廊下」を全日程でルートに加えたほか、昨年度は新型コロナウイルスの感染症対応で行政利用中につき見学できなかった「茶室」も、今回は見学コースに含むことができた。 催行グループ・定員を絞っての開催となったが、各回定員を大きく上回る応募があった。 ツアー当日はグループ内で積極的なやりとりがみられた。

(6) デザインキャンプ プラス

プラス株式会社ファニチャーカンパニーと当館の協働で、本年より立ち上がったワークショップ。目黒区を中心に近隣の方々へ、デザインを考える・体験する良質な場とつながりを提供するための活動を継続する。

講 座 名	デザインキャンプ プラス Vol.1 《トーネット》を知っていますか？—入門編—	 <p>曲木の実験の様子:木の棒に水分を含ませアイロンで熱し、型に当てているところ。</p>
実施日時	令和5年12月2日(土)、10日(日)(全2日間) 各日 10:30~16:30	
講 師	島崎 信(武蔵野美術大学名誉教授/デザイン研究)[監修] 石田 潤(リンク建築設計工房主宰/建築家)[ワークショップ]	 <p>島崎氏のオンライン・レクチャーでトーネットの歴史や特徴を学ぶ。</p>
会 場	2日(土):目黒区美術館ワークショップ室 10日(日):プラス株式会社 ファニチャーカンパニー PLUS DESIGN CROSS	
対象・定員	高校生以上・20名(事前申込制・先着順)	 <p>ワイヤーを使って、「エンドレスチェア」の制作に挑戦</p>
参加者	12人	
内 容	2022年に本部拠点を恵比寿に移したプラス株式会社ファニチャーカンパニーと協働で開始したワークショップシリーズの第1弾である。 同社が、現存する世界最古の家具ブランド「Thonet(トーネット)」の正規代理店であることから、19世紀から今日まで広く愛されているトーネットの椅子をテーマに、創業当時の歴史的背景からその製造のユニークなポイントまでを知ることのできる講座を企画した。 講師はデザイン研究者の島崎信氏と建築家の石田潤氏で、島崎氏には本講座の監修も務めていただいた。島崎氏のレクチャー(オンライン)、曲木の実験、製品カタログ兼ポスターの熟読、ワイヤーでのミニチュア椅子づくりを、主にグループワークで行った。参加者層は20代から60代で、デザインや椅子に関心のある方が多かった。アンケートは非常に高評価で、トーネットの奥深さを知った、楽しかった、また参加したい、という声を多くいただいた。	

(7) アウトリーチプログラム

令和6年度開催予定の「青山悟 刺繍少年フォーエバー」のプレプログラムとして、出品作家の青山が目黒区内の小学校を訪れ実施した、今回限定のプログラム。

講座名	目黒区美術館アウトリーチプログラム 「私たちの身近なところにいるモンスター」	 <p>目黒のマインドマップを制作</p>
実施日時	令和5年9月27日(水)、10月4日(水)、11日(水) 令和6年1月24日(水) 各日9:20~12:30	
講師	青山悟(アーティスト)	 <p>手分けして目黒の地図を制作</p>
会場	目黒区立五本木小学校 図工室	
対象・人数	5年生児童 66人	
内容	<p>目黒区出身・在住の、刺繍による作品を制作するアーティスト青山悟が、令和6年度開催予定の展覧会に先駆け、目黒区内の五本木小学校を訪れ、美術の授業を実施した。</p> <p>子どもたちにとって最も身近な社会問題について考えるきっかけとして「身近なところにいるモンスター」をテーマに取り上げた。</p> <p>青山の制作する作品をプロジェクターで紹介した後に、児童たちに地元目黒について考えてもらうために、目黒とはどんなところか考える「マインドマップ」を大きな紙に書きだした。</p> <p>次に、土台となる目黒区の地図を、カラフルな布で手分けして制作。各自が考える「モンスター」をまずはイラストに描き、その後、針と糸を使ってフェルト等で制作した。</p> <p>最終回では、青山が地図に生徒たちのモンスターを縫い付け仕上げたものを持参して皆で鑑賞した。さらに「普通という価値観を押しつけるモンスターと戦う自分」を制作するという課題が出され、子どもたちは大人が想像しなかったような戦う自分を表現し制作した。最終的な完成作品は、令和6年度の展覧会で展示する計画である。</p> <p>児童たちは刺繍で制作する青山の作品に感銘を受ける一方、生き生きとカラフルな作品を自由な発想で制作する児童たちからは、青山自身も刺激を受けていた。</p>	 <p>それぞれのモンスターを制作</p>

3 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度から実習を受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。令和5年度は8人の学生を受け入れた。

【5年度受入実施校】

青山学院大学、跡見学園女子大学、聖心女子大学、多摩美術大学、東京女子大学、二松学舎大学、日本大学、明治大学 各1人

(2) 広告事業等 (件数等広報一覧詳細については後掲「補足資料4」参照)

① 広報事業

- 1 当館ウェブサイトを随時更新
- 2 Facebook、x (旧 twitter)、Instagram、メルマガ会員情報配信

- 3 YouTube 公式ページ動画配信
- 4 めぐる区報、目黒区ホームページ
- 5 プレスリリース、ポスター・チラシの発送
- 6 新聞掲載
- 7 JR 目黒駅広告看板掲出・通年（ポスター）
- 8 近隣商店会（7 商店会）へのチラシ配布協力依頼
- 9 ミューぼん（スマートフォンアプリ）利用
- 10 駅貼り広告

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

令和5年度も前年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。

ぐるっとパスは1冊2,500円で購入可能であり、パス所持者は当館へ無料で入館することができる。

実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者
5年度	101館	82冊 (42,018冊)	4,383人 (292,895人)
4年度	101館	100冊 (33,111冊)	4,567人 (255,867人)

※ 上段は目黒区美術館、()内は全体数[参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計]

③ 報告書作成

展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.39 [ベルギーと日本ー光をえがき、命をかたどる]

令和5年8月21日発行

No.40 [目黒区美術館コレクション展 版画いろいろ+秋岡芳夫全集6 銅版画]

令和6年2月20日発行

No.41 [青山悟 刺繍少年フォーエバー エピソード0 展覧会開催前の二つのプレプログラム]

令和6年3月27日発行

No.42 [広がるコラージュ/同時開催 IIDA101 飯田善國]

令和6年3月27日発行

第2 受託事業（定款第4条第1項第2号）

1 指定管理事業展覧会

①	展覧会名	目黒区美術館コレクション展 版画いろいろ＋特集展示 秋岡芳夫全集 6 銅版画		
	会 期	令和5年10月7日(土)～11月12日(日) (32日間)		
	観 覧 料	一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)		
	入 館 者	2,600人		
	展示概要	<p>今回は、当館のコレクションの中に多数収蔵されている版画作品に改めて着目し、版種や作品の形態などに特に焦点を当てた展示とした。</p> <p>主要な版種の、凸版、凹版、平版、孔版、その他(混合技法、モノタイプ)に分類して展示を構成した。道具や制作プロセスの分かる動画を町田市立国際版画美術館より借用し展示したことで、来館者からは通常は分かりづらい版画の技法が良く理解できたなどの感想が寄せられた。</p> <p>展示室 B では特集展示として「秋岡芳夫全集 6 銅版画」を開催した。秋岡芳夫は目黒ゆかりの工業デザイナーだが、銅版画を制作していたことはあまり知られていない。1950年代前半に制作された、秋岡芳夫と、共に銅版画制作を学んでいた妻の芳子の作品のみならず、試刷りや資料類も展示した。</p>		
関連催事	1	<p>版画の実験室 講師：目黒区美術館学芸員 他 開催方法、定員：どなたでも、各日当日受付、入退場自由 開催日：令和5年10月17日(火)～27日(金) 各日 13:00～14:00 参加者：延べ 186 人 (10月17日：8人、18日：12人、19日：17人、20日：14人、21日：42人、22日：29人、24日：14人、25日：21人、26日：14人、27日：15人)</p> <p>内容：予約不要で、大人も子ども誰もが気軽に版画制作を体験できるミニ講座を開催した。 ビニール板や厚紙などを版材にして描画し、パスタマシンで圧力をかけインクを刷り取るなど、身近な素材や道具を工夫して、参加者は様々な版画を制作していた。 体験をとおり、木版画のような凸版しか知らなかった参加者が、楽しみながら版画の技法を深く理解できる機会となった。</p>		

	2	大人のための美術カフェ ナビゲーター：当館 学芸員 重田正恵 開催方法、定員：当日先着順、35名程度 開催日：10月21日(土) 14:00～15:00 参加者：25人 内容：当日の参加人数から、参加者とより深く交流できる、展示室内でのギャラリートークとした。 参加者からは改めて版種による制作方法などの積極的な質問があり、興味を持って版作品を鑑賞する様子が見られた。	 実施風景
②	展覧会名	めぐろの子どもたち展	
	会 期	令和6年1月20日(土)～2月4日(日) (14日間)	
	観 覧 料	無料	
	入 館 者	11,406人	
	展示概要	目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会を開催した。 本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。 本年は、新たに東京都立特別支援学校に通う生徒の作品も展示した。 作品数：4,028点	

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品

ア 寄贈 (計49件)

No.	作家名	作品名
1～9	矢崎 千代二	「ヒマラヤの朝」 他8件
10～11	村上 友晴	「無題 (礼文)」 他1件
12	藤田 嗣治	「男三人」
13	寺崎 百合子	「Taylor Institution Library, Oxford」
14	山下 新太郎	「シクラメン」
15	多和 圭三	「無題」
16	安原 喜明	「四人の少女」
17	後藤 良	「菊」
18～20	カナレット	「河畔の眺め」 他2件
21～46	秋岡 芳夫	「≪無題≫構想案一式と原版」他24件
47～49	秋岡 芳子	「無題」他2件

イ 寄託 (計0件)

(2) 作品貸出

作品貸出 件数 点数 = 合計 36件115点

① 3件3点

藤田嗣治「赤毛の女」

藤田嗣治「横たわる裸婦」

藤田嗣治「人形を持った少女」

展覧会名：中村直人 モニュメンタル／オリエンタル

貸出館：上田市立美術館

会期：令和5年4月15日～6月11日

貸出期間：令和5年4月5日～7月9日

※ 当館との巡回開催の展覧会で、当館では令和5年7月15日～9月3日の会期で展示。

② 1件29点

吉村弘 サウンド・オブジェ当資料一式より 29点

展覧会名：吉村弘 風景の音 音の風景

貸出館：神奈川県立近代美術館

会期：令和5年4月29日～9月3日

貸出期間：令和5年4月7日～9月9日

③ 4件4点

太田喜二郎「雪の朝」

太田喜二郎「風景」

斎藤豊作「羊飼い」

澤部清五郎「初夏のカフェ」

展覧会名：ベルギーと日本 光をえがき、命をかたどる

貸出館：高梁市成羽美術館、新潟県立近代美術館

会期：[成羽] 令和5年7月8日～8月27日、[新潟] 9月16日～11月12日

貸出期間：令和5年7月3日～11月24日

※ 当館を含む巡回開催の展覧会で、当館での会期は令和5年4月29日～6月18日。その後、上記巡回先に貸出し。

④ 3件3点

川村清雄「村上彦四郎（村上義光 錦御旗奪還図）」

川村清雄「高砂」

東山魁夷「樹根」

展覧会名：シン・ジャパニーズ・ペインティング 革新の日本画－横山大観、杉山寧から現代の作家まで

貸出館：ポーラ美術館

会期：令和5年7月15日～12月3日

貸出期間：令和5年6月30日～12月7日

※ 各作品とも展示期間は、会期前半（7月15日～10月20日）のみ。

⑤ 4件4点

藤田嗣治「10人の子どもたち」

藤田嗣治「動物群」

藤田嗣治「馬図」

藤田嗣治「鯰と蛙の図」

展覧会名：没後55年 藤田嗣治展 FOUJITA in Paris & Villiers-le-Bac

貸出館：笠間日動美術館

会期：令和5年9月30日～12月17日

貸出期間：令和5年9月21日～12月21日

⑥ 7件7点

田中 保「金髪の裸婦」

坂田一男「浴室の二人の女」

村井正誠「アラブの店」

下川凹天「銀座はうつる」『東京パック』原画集より

池田永治「今年も同じ登場者」『東京パック』原画集より

岡本唐貴「先端にたつ女三態」『東京パック』原画集より

岡本唐貴（三浦俊）「都会」『東京パック』原画集より

展覧会名：葉山館20周年記念 100年前の未来：移動するモダニズム 1920
- 1930

貸出館：神奈川県立近代美術館 葉山

会期：令和5年10月7日～令和6年1月28日

貸出期間：令和5年9月27日～令和6年2月2日

⑦ 13件64点

藤田嗣治「葉書（澤鑿治宛）」12点

藤田嗣治「静物（インク壺）」

藤田嗣治「自画像」

藤田嗣治「キス・ミー」（人形、顔）

藤田嗣治「キス・ミー」（人形、全身）

藤田嗣治「陶器 顔（8枚組皿）」8点

藤田嗣治「陶器 エッフェル塔」

藤田嗣治「陶器 アダムとイヴ」

藤田嗣治「陶器 猫とねずみ」

藤田嗣治「陶器 燭台女」

藤田嗣治「書簡（フランク・シャーマン宛）」34点

藤田嗣治「人形を持った少女」

藤田嗣治「トランク（遺品）」

展覧会名：藤田嗣治 心の旅路をたどる—手紙と手しごとを手がかりに

貸出館：アサヒビールグループ大山崎山荘美術館

会期：令和5年12月16日～令和6年2月25日

貸出期間：令和5年11月28日～令和6年3月6日

⑧ 1件1点

太田喜二郎「風景」 1908-13年 油彩・キャンバス (お002-002)

展覧会名：印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

貸出館：東京都美術館、郡山市美術館、東京富士美術館、あべのハルカス美術館

会期：[東京都美] 令和6年1月27日～4月7日、[郡山] 4月20日～6月3日、[東京富士] 7月6日～9月29日、[あべの] 10月1日～令和7年1月5日

貸出期間：令和6年1月13日～令和7年1月上旬【予定】

※ 令和5年度から6年度にまたがる巡回展。

(3) 資料貸出

令和5年度は無し

3 区民ギャラリーの貸出 (利用状況については後掲「補足資料3」参照)

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は、年間で開館以来初の100%となった。(4年度は95.0%)

空き状況については従来の当館ウェブサイトでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、SNS上に配信した。

その他業務(保守メンテナンス含む)については、

- ① 毎年行っている展示壁のクリーニング及び保守点検を行った。
- ② 有孔ボード清掃及び塗装を行った。
- ③ 区主催事業「平和の壁画とミヤザキケンスケ作品展」に協力した。
- ④ 備品類(ワイヤー交換、スポットライト点灯確認)のメンテナンス作業を行った。
- ⑤ 利用案内他事前申請書類の改定を行った。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料金収入実績	利用率	入館者
5年度	600面	5,916,750円 (5,965,750円)	100%	延べ31,432人
4年度	576面	5,720,750円 (5,206,250円)	95.0%	延べ30,207人

※ 利用料金収入実績は、還付後の金額である。

上段は収入日の年度の合計、()内は当該年度の決算数値である。

【利用者アンケートから】

① 職員対応 (利用案内等)

年度	良い	普通	悪い
5年度	59件 (96.7%)	2件 (3.3%)	0件 (0%)
4年度	49件 (90.7%)	5件 (9.3%)	0件 (0%)

② 展示のしやすさ

年度	良い	普通	悪い
5年度	44件 (71.0%)	17件 (27.4%)	1件 (1.6%)
4年度	42件 (77.8%)	12件 (22.2%)	0件 (0%)

4 その他の受託事業

(1) めぐるオータムアート

目黒区との共催事業。めぐるパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

①	講座名	東大駒場キャンパスの歴史を学ぶ+駒場博物館	 <p>実施風景</p>
	講師	折茂克哉(東京大学大学院教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	令和5年10月14日(土) 10:00~12:00	
	実施場所	東京大学駒場1キャンパス	
	対象・定員	中学生以上・20名 (事前申込制)	
	参加者	16人(申込98人)	
	内容	<p>毎年恒例のプログラムであるが、目黒区民を中心に人気が高く、今年も定員20名のところ、98人の申し込みがあった。今年も、配布資料の旧制第一高等学校時代の写真等を参照しながら、現在のキャンパスを巡り歩いた。構内の様々な建築物やモニュメント、紋章にまつわる解説を通して、東大駒場キャンパスの成り立ちや、学内の歴史資産への理解を深め、親しんだ。</p> <p>今年は特に、駒場博物館で開催していた展覧会「CONNECTING ARTIFACTS つながるかたち展03」のギャラリーツアーを含めたことで、現在の東京大学での研究や美術に関する話題も盛り込まれた充実した内容となり、参加者からも好評であった。</p>	
②	講座名	生活の中の『ノイズ』を見つけて展覧会をつくる	 <p>街中で「ノイズ」を採取する</p>
	講師	青山悟(アーティスト) 秋岡陽(音楽史/フェリス女学院 学院長)	
	開催日	令和5年10月29日(日)、11月4日(土) 各日 10:30~17:30(2日目は19:00まで)	
	実施場所	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上でスマートフォンを持参・使える方・20名 (事前申込制)	
	参加者	11人(申込19人)	

	内 容	<p>毎年、美術館とパーシモンホールの共同企画として行う、音楽と美術のワークショップも今回で第 11 回目を迎えた。</p> <p>日頃の生活の中で、騒音や雑音、目障りなものとして排除される「ノイズ」に着目し、これを作品として制作し、展示までを行うワークショップとした。</p> <p>初日は講師から、美術と音楽の双方の観点からの「ノイズ」についての講義を聞いた後、街中で実際に「ノイズ」と思われるものを採取。翌週の 2 回目には、自分で採取した「ノイズ」を実際に作品へと変換し制作。参加者自身の手で、展示し、展覧会タイトルもつけて、自分たちの展覧会を創り上げた。</p> <p>普段なら着目されないような事象を取り上げて作品にすると、という現代美術の手法を体験し、充実した内容に参加者は満足した様子であった。</p>	 <p>自分達で考えた展覧会名</p>  <p>展覧会風景</p>
③	講座名	目黒建築めぐり塾：オンライントークとガイドツアーでめぐる村野藤吾の建築意匠	 <p>オンライントーク (目黒区美術館にて)</p>  <p>建築ガイドツアー (目黒区総合庁舎にて)</p>
	講 師	<p>トーク: 村野藤吾建築ネットワーク参加施設から</p> <p>① 大庄村役場(1937 年竣工) [現・尼崎市立大庄南生涯学習プラザ] 〔案内役〕 桃谷和則(尼崎市立歴史博物館)</p> <p>② 関西大学(1955-1980 年竣工) 〔案内役〕 石立弥生子・佐藤健太郎(関西大学博物館)</p> <p>③ 八ヶ岳美術館(1979 年竣工) [現・八ヶ岳美術館・原村歴史民俗資料館] 〔案内役〕 小泉悦夫館長、宮坂 睦(八ヶ岳美術館)</p> <p>ガイドツアー: 目黒区美術館建築ガイドスタッフ</p>	
	開 催 日	令和 5 年 11 月 26 日(日) 10:30~16:00	
	実施場所	<p>トーク: 目黒区美術館 ガイドツアー: 目黒区総合庁舎</p>	
	対象・定員	中学生以上・50 名 (事前申込制)	
	参 加 者	41 人 (申込 140 人)	
	内 容	<p>目黒区役所が現在の総合庁舎に移転して 20 年となる今年、建築家・村野藤吾の意匠をテーマに、オンラインによるレクチャーと総合庁舎の建築ガイドツアーを合わせた講座を行った。</p> <p>当館は、平成 27 年から各地の村野藤吾設計の美術館や施設、それに関わる団体等と「村野藤吾建築ネットワーク」を立ち上げ、交流を図っている。</p> <p>今回は、同ネットワーク参加施設等より3施設の方々にそれぞれの建築の見所、魅力を豊富な写真資料とともに話していただいた。その後、総合庁舎に移動し、当館建築ガイドスタッフの案内で約 2 時間じっくり建築を堪能した。庁舎では、茶室のほか、この秋から利用可能となった和室(しじゅうからの間、しいの間、はぎの間)の見学もできた。</p> <p>また、申込者多数のため、区の意向により区民優先となり、参加者は全員目黒区民となった。アンケートによると、近所ながら区庁舎の建築について初めて知ることが多かった、大変面白かった、という声を多くいただいた。また、子どもたちにこの建築を伝えていきたい、という感想もいただいた。</p>	

第3 その他事業（定款第4条第1項第4号及び第4条第2項）

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

（1）区展（区民作品展）への協力

会期：令和5年9月13日（水）～24日（日）（11日間）

（2）区内美術4団体への協力

- ① 目黒区写真美術協会展（協会都合により実施無し）
- ② 目黒区書作家協会展（会期：令和5年5月17日（水）～21日（日））
- ③ 目黒区美術家協会展（会期：令和5年6月21日（水）～25日（日））
- ④ 目黒区美芸作家協会展（会期：令和6年3月26日（火）～31日（日））

（3）区内等中学校・高等学校への協力

- ① 目黒区立大鳥中学校職場体験（令和5年6月6日（火）～8日（木））
- ② 聖心女子学院高等科社会体験学習（令和5年8月2日（水）～3日（木））
- ③ 目黒区立第八中学校職場体験（令和6年1月24日（水）～26日（金））
- ④ トキワ松学園中学校職場見学会（令和6年2月6日（火））

（4）視察、研修等の受入れ

- ① 東京造形大学 博物館実習1履修者26人（令和5年5月16日（火））
- ② 目黒区教育委員会小学校図工部員24人（令和5年6月15日（木））
- ③ 跡見女子学園大学 博物館教育論履修者20人（令和5年6月18日（日））
- ④ 府教研図工美術部（府中市小中学校図工・美術専科）15人（令和5年8月1日（火））
- ⑤ 武蔵野美術大学ワークショップ15人（令和5年9月8日（金））
- ⑥ 跡見女子学園大学 博物館教育論履修者9人（令和6年1月21日（日））

2 危機管理体制

消防計画や事象別危機管理対応マニュアルをもとに、館をとりまく様々な災害等を想定し、職員一同日頃より情報共有に努め、日常的な点検をはじめ緊急時等に備えている。令和5年度の主な対応は以下のとおりである。

（1）新型コロナウイルス感染症対策

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたが、受付等のアクリル板の設置、館内各所への消毒液の設置などの対策は引き続き継続して行った。

（2）防火・防災対策

令和6年2月1日（木）に震災を想定した避難訓練を実施した。訓練は目黒消防署指導のもと、目黒区美術館消防計画に基づき職員・監視員・受付スタッフが参加して行った。併せて消防署員よりAEDの使用法の指導を受けた。

（3）衛生管理

ラウンジ（喫茶コーナー）の運営に当たっては、職員の指導のもとボランティアスタッフによる手洗いの励行、定期的な清掃、材料の衛生管理など食中毒の予防に努めた。

（4）監視員研修

展覧会開催時の監視員に対し、展覧会毎に避難誘導、急病者、不審者等への対応について事前説明を行うほか、事例別の特別研修会を行った。

具体的には「お客様が転倒し作品にぶつかった拍子に作品が破損してしまった事故」と「不審な行動を繰り返すお客様への対応」を学芸係長と管理係長が講師となって指導するなど、不測の事態に備えた。

3 ボランティア活動

ボランティア会員99人（令和6年3月31日現在）が、5班（ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班）に分かれ、美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として12月7日にバスツアーを開催し、笠間日動美術館と茨城県陶芸美術館の2館を巡り、40人が参加した。

毎年、年度末に開催しているボランティア総会については、令和6年3月16日（土）に開催した。

① ラウンジ班

展覧会開催期間延べ177日（区展含む）のラウンジ運営に協力した。

② トイコレクション班

トイの日（景丘の家2回、目黒区民センター児童館1回）、トイの日ウィーク（6日間）及びファミリーワークショップの実施と、コロナ禍以前と同様の活動が可能になり、企画・実施まで精力的に協力した。

③ 建築班

目黒区総合庁舎建築ガイドツアーが実施され、協力した。（計4回）

④ 広報班

「中村直人」展、「版画いろいろ」展、「広がるコラージュ展」、令和6年度展覧会「青山悟」展の発送作業に協力した。

⑤ 資料整理班

展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

4 収益事業等（ミュージアムショップ、ラウンジ運営）

（1）ミュージアムショップ（通年）での取組

- ① 定期的に商品ラインナップの入れ替えを行い、リピーター利用者が飽きないように工夫をした。
- ② 各展覧会に関連した書籍やグッズ等を販売し手数料収入を得た。
- ③ 展覧会図録をはじめ、当館オリジナルトートバッグ等については、1年を通じてウェブサイトから簡単に申し込み可能な通信販売を実施しており、遠隔地のお客様に好評であった。（電話、FAX申し込みも可）

【ベルギーと日本】展

- ・ 出品作品のポストカード9種を計2,481枚売り上げた。
- ・ 本展図録は391冊売り上げた。
- ・ ベルギー王室御用達の菓子メーカーであるジュールス・デストルーパー社の缶入りワッフルを168個売り上げた。

【中村直人】展

- ・ 出品作品のポストカード5種を計490枚売り上げた。
- ・ 本展図録は161冊売り上げた。

【広がるコラージュ】展

- ・ 出品作品のポストカード3種を計189枚売り上げた。
- ・ 本展図録はなかったが、過去の展覧会図録で本展と関連のある図録2種を計108冊売り上げた。

(2) ラウンジでの取組

- ① 「ベルギーと日本」展では、展覧会限定メニューとして、本場ベルギーより輸入の「ベルギーワッフル」を採用し、計1,128個売り上げた。また、ベルギーはチョコレートが有名であることに因み、チョコレート風味の紅茶「テ・オ・ショコラ」を提供し、567杯の販売実績となった。
- ② 「中村直人」展では、中村直人出身の地である長野県の特産品である信州りんごのアイス「信州りんご玉」を提供した。猛暑が続いたため、300個用意したアイスは完売した。
- ③ 「版画いろいろ」展では、「レモンティー味のスティックケーキ」を用意し、318個売り上げた。
- ④ 「めぐろの子どもたち展」では、通常の展覧会よりも子供の入館者が多いため、ジュース2種「つぶらなリンゴ」「つぶらなミカン」を用意し、計95本売り上げた。僅差ではあったが、「つぶらなミカン」の販売数が多かったことから、以降レギュラーメニューとして採用することとした。
- ⑤ 「広がるコラージュ」展では、フィナンシェ菓子である「ガトーブルポいちご味」「ガトーブルポ抹茶味」を計315個販売した。

令和5年度 展覧会事業実施状況

区分		ベルギーと日本	中村直人	版画いろいろ	めぐろの子どもたち展	広がるコラージュ	計
会期	期間	4.29～6.18	7.15～9.3	10.7～11.12	R6.1.20～2.4	R6.2.17～3.24	
	日数	44	44	32	14	32	166
入館者（人）	目標	5,000	3,500	3,000	10,000	2,500	24,000
	実績	6,879	3,035	2,600	11,406	3,754	27,674
有料		3,309	1,046	688	0	1,772	6,815
一般(下記以外)		1,755	511	415	0	1,178	3,859
高校・大学・高齢者		1,554	535	273	0	594	2,956
無料		3,570	1,989	1,912	11,406	1,982	20,859
招待券		1,113	700	519	0	655	2,987
ぐるっとパス		1,911	878	692	0	902	4,383
障がい者		295	127	77	0	157	656
幼児・小・中学生		119	196	98	0	201	614
小学生ギャラリートツアー		0	0	0	2,560	36	2,596
その他(ピリエ会員等)		132	88	526	8,846	31	9,623
入館者割合（％）	有料	48.1	34.5	26.5	0	47.2	24.6
	無料	51.9	65.5	73.5	100	52.8	75.4
1日当たり入館者（人）		156	69	81	815	117	167
入館料収入（円）		2,327,925	741,450	413,495	0	1,123,345	4,606,215

※ 「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数である。「版画いろいろ」展は区民まつりの無料人数（498人）を含む。

※ 「ぐるっとパス」については、受付の日計表とあわせて「無料」の区分としているが、実際の取扱いについては、91ページのとおりである。

令和5年度 展覧会入館者数等の推移

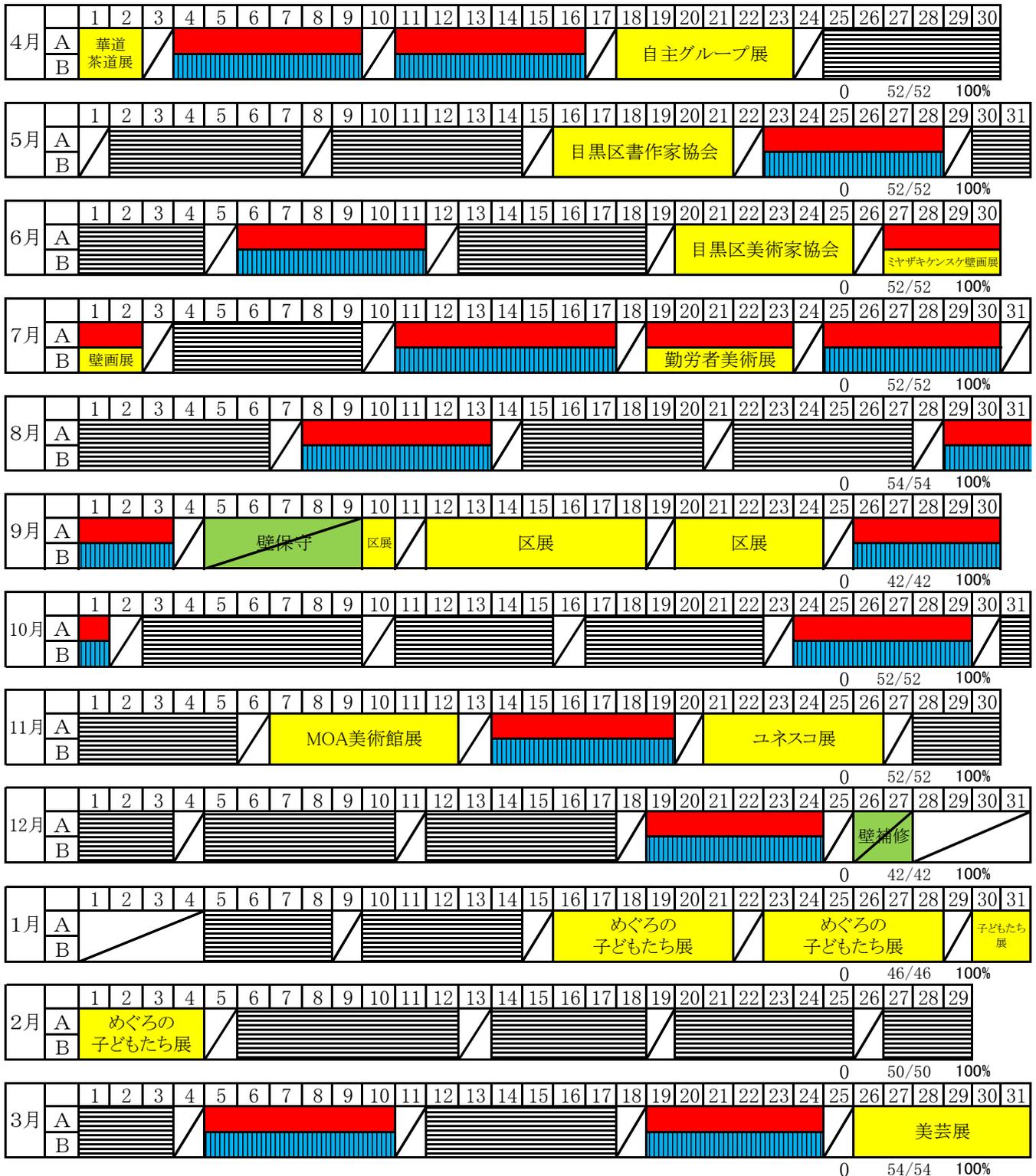
区分		令和5年度	令和4年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数	5	5	0	
	開館日数	166	172	△ 6	
	入館者(人)	有料	6,815	11,699	△ 4,884
		無料	20,859	21,948	△ 1,089
		合計	27,674	33,647	△ 5,973
観覧料(円)	4,606,215	7,845,256	△ 3,239,041		
教育普及事業(ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ(ファミリーワークショップ含む)	開催数(回)	6	9	△ 3 ※①
		参加者(人)	114	404	△ 290 ※②
	ギャラリーツアー	開催数(回)	8	7	1
		参加者(人)	134	222	△ 88
	トイコレクション(アウトリーチ)	開催数(回)	3	1	2
		参加者(人)	69	30	39
	トイの日	開催数(回)	6	6	0
		参加者(人)	274	168	106
	実験室(画材・版画)	開催数(回)	3	—	— ※③
		参加者(人)	812	—	—
	庁舎建築ガイドツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者(人)	143	89	54
	デザインキャンププラス(令和4年度以前は「デザインキャンプ」)	開催数(回)	1	0	1
		参加者(人)	12	0	12
	大人のための美術カフェ	開催数(回)	3	4	△ 1
		参加者(人)	80	110	△ 30
合計	開催数(回)	34	31	3	
	参加者(人)	1,638	1,023	615	

※① 令和4年度までは「実験室」を含めていたが、「実験室」の項目を別立てとした。

※② ①のとおり「実験室」を別の項目として表記したため、人数が減っている。

※③ 事業数は3であるが、開催の延べ日数は38日間である。

令和5年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



全体 (0) 600/600 100%

- 凡例
- A面のみの利用
 - B面のみの利用
 - 全面利用
 - 共催、後援事業
 - 保守、補修等
 - 休館日

令和5年度 広報一覧

広報内容	種別	広報手段	件数等		備考	
館総合・各展覧会・ワークショップ等	美術館発信	当館ウェブサイト	402,776件(R5)		全体アクセス数	
			528,440件(R4)			
		メールマガジン	18件	登録者数：512人(前年度比+23人)		事業毎に配信
		X(旧twitter)	162件	フォロワー数:21,626人(前年度比+825人)		事業毎に配信
		Facebook	162件	フォロワー数:1,745人(前年度比+38人)		事業毎に配信
		Instagram	162件	フォロワー数:1,869(前年度比+481人)		事業毎に配信
		YouTube	8動画	チャンネル登録者数:184人(前年度比+26人)		事業毎に配信
		プレスリリース送付			約300件	各展覧会毎に発送
	ポスター・チラシ送付			約500件	各展覧会毎に発送	
	区協力	めぐろ区報			通年	
		目黒区ウェブサイト			通年	
			ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)			通年
	有料広告	新聞掲載(毎日新聞)	JR目黒駅広告看板掲出		通年	
			4/26、5/24(東京、神奈川)	36件	2件(都内・神奈川版 5段カラー)	
13件(都内 突き出し)						
1件(都内・神奈川版 5段カラー)					中村直人	
8件(都内 突き出し)						
7件(都内 突き出し)					版画いろいろ	
1件(都内・神奈川版 全5段カラー)					広がるコラージュ	
4件(都内 突き出し)						
Yahoo レスポンシブ 広告		配信期間:4/28-5/11			クリック回数	8,221回
		配信期間:10/11-10/24	4,308回	版画いろいろ		
		配信期間:2/16-2/29	9,962回	広がるコラージュ		
YouTube TrueView インストリーム広告(スキップ可)	配信期間:4/28-5/11	視聴数	65,949回	ベルギーと日本		
	配信期間:7/19-7/25	視聴数	67,499回	中村直人		
区民ギャラリー内	美術館発信	当館ウェブサイト	402,776件(R5)		全体アクセス数	
			528,440件(R4)			
	メールマガジン			3件	空き室情報等	
区庁舎協力の	都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付					
	西口ロビーパネル展示		日程調整がつかず中止			
	1階食堂近くの掲示板利用				1か所	
	文化・交流課窓口等					
	めぐろ観光まちづくり協会窓口					

[館総合・各展覧会・ワークショップ等]

【美術館発信】

1 X (旧 Twitter) : ①



掲載日:6/18 本日閉幕
[ベルギーと日本展]



掲載日:7/6 開催のお知らせ
[ワークショップ 2023 夏]

2 Facebook : ②



掲載日:6/23 開催予告
[中村直人展]



掲載日:9/14 開催予告
[コレクション展]

3 Instagram : ③



掲載日:5/30
ミュージアムショップ商品紹介



掲載日:10/19 インスタライブ配信予告
[コレクション展]

4 YouTube : ④



掲載日:4/27 動画でサクッと
予告[ベルギーと日本展]



掲載日:8/10 動画でぎゅぎゅつ
と解説[中村直人展]



掲載日:2/16 動画でサクッと
予告[広がるコラージュ展]

【有料広告】

1 新聞掲載 (毎日新聞) : ⑤～⑫



⑤ 掲載日:4/26
(都内・神奈川版)全5段カラー
[ベルギーと日本展]



⑥ 掲載日:5/24
(都内・神奈川版)全5段カラー
[ベルギーと日本展]



⑦ 掲載日:4/23-6/10 (13回
掲載・都内版)突出広告モノクロ
[ベルギーと日本展]



⑧ 掲載日:7/21
(都内・神奈川版)全5段カラー
[中村直人展]



⑨ 掲載日:7/20-8/24 (8回掲
載・都内版)突出広告モノクロ
[中村直人展]



⑩ 掲載日:10/12-11/5 (7回
掲載・都内版)突出広告モノクロ
[コレクション展]



⑪ 掲載日:2/21
(都内・神奈川版)全5段カラー
[広がるコラージュ展]



⑫ 掲載日:2/17-3/1 (4回掲載・都内版)突出広告モノクロ
[広がるコラージュ展]

2 Yahoo!ディスプレイ広告: ⑬~⑭

■配信結果

実施内容:『ベルギーと日本』展新装
 配信目的:展覧会のオープン告知(サイトへの誘導)
 配信期間:2025年4月28日(金)~5月11日(木)
 上限予算:200,000円(税込)

配信媒体:YDA (Yahoo!) レスポンシブ広告
 配信地:Yahoo! + Yahoo!検索パートナーサイト
 デバイス:PC・スマートフォン・タブレット
 エリア:東京23区

ターゲット:美術関係者
 デモグラフ:40歳以上 男女
 興味関心:工芸好き
 キーワード:美術館、アート、美術 など

【サマリー】

結果	インプレッション	CPM	クリック率	クリック数	クリック単価	ご利用金額
TOTAL	6,386,452	¥31	0.13%	8,221	¥24	¥200,000
想定値	1,844,737	¥127	0.38%	6,790	¥11	¥700,000

コメント
 ・クリック数8,221(目標:4,308)、クリック単価¥28(目標¥42)と、効率よく配信することができました。
 ・クリック率については想定を下回りましたが、インプレッションが想定を上回るため、クリック数も目標よりも獲得することができました。

⑬ 配信期間:4/28-5/11 クリック数 8,221 回
[ベルギーと日本展]

■配信結果

実施内容:コレクション展『版画いろいろ』新装
 配信目的:展覧会のオープン告知(サイトへの誘導)
 配信期間:2025年10月11日(木)~10月24日(火)
 上限予算:120,000円(税込)

配信媒体:YDA (Yahoo!) レスポンシブ広告
 配信地:Yahoo! 検索
 デバイス:PC・スマートフォン・タブレット
 エリア:目黒区
 デモグラフ:ALL
 興味関心:ALL

【サマリー】

結果	インプレッション	CPM	クリック率	クリック	クリック単価	ご利用金額
TOTAL	2,944,474	¥40	0.15%	4,308	¥28	¥119,184
想定値	923,077	¥136	0.32%	2,954	¥41	¥120,000

コメント
 ・クリック数4,308(目標:2,954)、クリック単価¥28(目標¥41)と効率よく運用することができました。
 ・今回の配信では「目黒区」のみと過去配信時よりもエリアを絞っての配信でしたが、想定よりも結果で配信量を伸ばすことができ、安価にクリックを獲得することができました。

⑭ 配信期間:10/11-10/24 クリック数 4,308 回
[コレクション展]

3 Google ディスプレイ広告: ⑮

■配信結果

実施内容:『広がるコラージュ / 同時開催HDA 101 秋田善徳』展
 配信目的:展覧会のオープン告知(サイトへの誘導)
 配信期間:2024年2月16日(金)~2月20日(木)
 上限予算:160,000円(税込)

配信媒体:GDMレスポンシブ広告
 デバイス:PC・スマートフォン・タブレット
 エリア:東京23区
 デモグラフ:ALL
 興味関心:美術関係

【サマリー】

結果	インプレッション	CPM	クリック率	クリック	クリック単価	ご利用金額
TOTAL	1,976,355	¥81	0.50%	9,962	¥16	¥160,000
想定値	987,654	¥162	0.60%	5,926	¥27	¥160,000

コメント
 ・クリック数9,962(目標:5,926)、クリック単価¥16(目標¥27)と効率よく運用することができました。
 ・昨年同時期に実施した「コレクション展新装Ⅱ(0204/0224-0309/10万円)」と比較しても、クリック率は少し低くなったものの、クリック単価12円程安価に獲得しております。

⑮ 配信期間:2/16-2/29 クリック数 9,962 回
[広がるコラージュ展]

IV 処務の概要

1 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 文化ホールの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 管理施設と管理物品の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第3条第2号から第6号に規定する事業に関する業務 (2) 美術館の観覧、特別観覧及び区民ギャラリーの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区文化ホールの管理運営に関する令和5年度協定書	令和5年4月1日	目黒区長	令和5年度における目黒区文化ホール管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する令和5年度協定書	令和5年4月1日	目黒区長	令和5年度における目黒区美術館管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書
目黒区文化ホールの管理に関する仮基本協定書	令和5年11月15日	目黒区長	令和6年度から10年度までの目黒区文化ホールの管理に関する基本協定の仮基本協定書
目黒区美術館の管理に関する仮基本協定書	令和5年11月15日	目黒区長	令和6年度から10年度までの目黒区美術館の管理に関する基本協定の仮基本協定書

2 財団運営会議の開催状況

回数	開催年月日	議題
第1回	令和5年5月10日	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書の提出及び監査依頼について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第2回	令和5年5月24日	監査報告書の提出について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第3回	令和5年9月27日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第4回	令和6年1月31日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		令和6年度第1回・第2回運営会議の会議日程について
		その他

3 理事会の開催状況

回数	開催年月日	議案番号等	件名		
第1回	令和5年6月1日	議案第2号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)		
		議案第3号	令和5年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)		
		議案第4号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について		
		議案第5号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団非常勤職員規程の一部を改正する規程		
		議案第6号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団個人情報保護規程の一部を改正する規程		
		協議事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について		
		報告事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について		
			理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について		
第2回	令和5年10月12日	議案第10号	令和5年度目黒区美術館事業計画の変更(案)		
		議案第11号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員会の招集について		
		協議事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について		
		報告事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について		
			令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の指定管理者運営評価の結果について		
			目黒区文化ホール及び目黒区美術館の次期指定管理者の選定について		
			新たな目黒区民センターの基本計画(素案)への意見の提出について		
第3回	令和6年2月9日	議案第12号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)		
		議案第13号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)		
		議案第14号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)		
		議案第15号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み		
		議案第16号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について		
		議案第17号	専決処分した事項の報告及び承認について(給与規程改正)		
		議案第18号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団就業規則の一部を改正する規則		
		議案第19号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則		
		議案第20号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部を改正する規程		
		議案第21号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団退職手当支給規程の一部を改正する規程		
		議案第22号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団非常勤職員就業規程		
		議案第23号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団臨時職員就業規程		
		報告事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について		
			理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について		
			目黒区文化ホール及び目黒区美術館の次期指定管理者の指定について		
			新たな目黒区民センターの基本計画について		
			新たな目黒区民センター等整備・運営事業実施方針及び要求水準書(案)等について		
		めぐろパーシモンホール大ホール消防設備点検時における事故の発生について			
		書面表決	令和5年4月1日	議案第1号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選定について
		書面表決	令和5年6月16日	議案第7号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長の選定について
議案第8号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団副理事長の選定について				
議案第9号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選定について				
書面表決	令和6年3月27日	議案第24号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長及び重要な職員の任用について		
書面表決	令和6年3月27日	議案第25号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員会の招集について		

4 評議員会の開催状況

回数	開催年月日	議案番号等	件名
第1回	令和5年6月16日 (定時評議員会)	議案第2号	令和4年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第3号	令和5年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第4号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について
		議案第5号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団監事の選任について
		協議事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団次期評議員の選任決定について
第2回	令和5年10月26日	議案第6号	令和5年度目黒区美術館事業計画の変更(案)
		協議事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について
		報告事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
			令和4年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の指定管理者運営評価の結果について
			目黒区文化ホール及び目黒区美術館の次期指定管理者の選定について
新たな目黒区民センターの基本計画(素案)に対する財団の意見提出について			
第3回	令和6年2月22日	議案第7号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		議案第8号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)
		議案第9号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)
		議案第10号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		報告事項	令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
			目黒区文化ホール及び目黒区美術館の次期指定管理者の指定について
			新たな目黒区民センターの基本計画について
			新たな目黒区民センター等整備・運営事業実施方針及び要求水準書(案)等について
めぐろパーシモンホール大ホール消防設備点検時における事故の発生について			
書面表決	令和5年4月1日	議案第1号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について

5 評議員、理事及び監事名簿

(1) 評議員

(順不同)

役職	氏名	備考
評議員	柏谷 秀男	弁護士、税理士
評議員	塩田 純一	多摩美術大学客員教授
評議員	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
評議員	木田 左和子	昭和女子大学非常勤講師
評議員	箱守 栄一	美術品リスクコンサルタント
評議員	橋本 安男	目黒区民交響楽団副団長
評議員	宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授
評議員	植田 健二	目黒吹奏楽団団長
評議員	堀切 克俊	有限会社丸貴代表取締役
評議員	松岡 希代子	板橋区立美術館館長
評議員	岡田 敦子	東京音楽大学副学長

(令和6年3月31日現在)

(2) 理事

(順不同)

役職	氏名	備考
理事長	秋山 光文	お茶の水女子大学名誉教授
副理事長	山下 直純	山下寝具株式会社会長
常務理事	中澤 英作	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長(パーシモンホール館長兼務)
理事	遠藤 幸子	弁護士
理事	田中 晴久	平和祈念展示資料館学芸員
理事	中屋 早紀子	声楽家
理事	秋岡 陽	フェリス女学院学院長
理事	橋 秀文	目黒区美術館館長
理事	菅波 希衣子	ワッティー株式会社代表取締役社長

(令和6年3月31日現在)

(3) 監事

(順不同)

役職	氏名	備考
監事	余語 直樹	公認会計士、税理士、社会保険労務士
監事	横田 俊文	行政経験者

(令和6年3月31日現在)